

「横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備構想（案）」に対する  
市民意見募集の実施結果について

令和3年3月

横浜市

## 目次

1	市民意見募集実施概要 .....	1
2	市民意見募集実施結果 .....	1
3	意見の内訳 .....	1
4	頂いたご意見への対応状況 .....	1
	（1）再整備の具体的な内容 .....	2
	（2）交通アクセス .....	19
	（3）環境 .....	35
	（4）再整備への期待 .....	48
	（5）現行2病院の跡利用 .....	54
	（6）再整備の必要性 .....	57
	（7）その他 .....	60

## 1 市民意見募集実施概要

実施方法	根岸住宅地区跡地利用基本計画（案）及び横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備構想（案）について、同時に実施。
実施期間	令和2年10月30日（金）から11月30日（月）まで（当日消印有効）
パンフレット配布場所	○市民情報センター、18区役所広報相談係【19か所】 ○中区、南区、磯子区及び金沢区内のPRボックス【110か所】
主な周知方法	○記者発表（10月29日） ○広報よこはま11月号「はま情報」 ○市ホームページ（政策局大学調整課）

## 2 市民意見募集実施結果

意見通数（通）	意見件数（件）
158	182

提出方法	意見通数（通）	住所別	意見通数（通）
はがき	29	中区	70
電子メール	5	南区	15
FAX	4	磯子区	20
電子申請	119	金沢区	22
封書	1	その他市内	24
直接持参	0	市外	2
合計	158	未記入	5
		合計	158

## 3 意見の内訳

項目	意見数（件）
ア 再整備の具体的な内容	42件(23.1%)
イ 交通アクセス	38件(20.9%)
ウ 環境	34件(18.7%)
エ 再整備への期待	31件(17.0%)
オ 現行2病院の跡利用	9件(4.9%)
カ 再整備の必要性	7件(3.8%)
キ その他	21件(11.5%)
合計	182件

## 4 頂いたご意見への対応状況

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とその分類を掲載しています。

○ご意見の内容により分類して掲載しています。

○いただいたご意見に対して、本市の考え方を掲載しています。

○いただいたご意見については原則原文のまま掲載していますが、個人情報、誹謗中傷にあたる表現、判別のできない文字については●で表示している場合があります。

○ご意見の内容によって、本構想と「根岸住宅地区跡地利用基本計画」のどちらか、または両方に掲載しています。

(1) 再整備の具体的な内容

No.	ご意見	本市の考え方
1	文教地区として市立大学を移転させるだけでなく、大規模な研究大会が打てるような施設も併せるべきと考える。	ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
2	福浦の病院に通っているが、診療科が何階にあるか分からなくなり、迷うこともある。精算のため待つ場所が狭く、座るところが少ないように感じる。駐車場が少なく、9時を回ると駐車スペースの空きを待つ車で行列ができています。 市民の健康を守る施設ならば、余裕のある造りであるべきだと思う。	再整備のコンセプトに「病院利用者に安心感を与える診療環境の整備」を掲げており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
3	コンセプトが災害にも強い病院、であるならば、新病院にヘリポートは必須の設備である	ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
4	大学病院というのは良案である。但し、市の唯一の大学病院に求められる機能として ○重症患者への対応 ○災害対応 が重要。	ご指摘の内容は地域医療機関との役割分担等を踏まえ、公立大学病院として重要な機能と認識しています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
5	重症患者の対応と災害対応も新病院の大きな使命の1つであるならばヘリポートは欠かすことができない設備であろう。	ご指摘の内容は地域医療機関との役割分担等を踏まえ、公立大学病院として重要な機能と認識しています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

6	客船のコロナ対応のようなことがこれからもあると思ういますので、外国語のできるスタッフや、外国の治療に詳しい病院になることが必要な時代かと思われます。そうでなくても周りは外人ばかりになっている。	市民の健康と命を支える最後の砦として、緊急事態にも迅速・的確に対応しうる病院にしていく必要があります。将来の社会情勢を踏まえ、求められる役割をしっかりと発揮できるよう、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
7	現在市民総合医療センターを利用中だが、老朽化を感じられず緊急性のないこと、また、市大医学部を含めた現在の2箇所をあえて統合する必要性も感じられず、かえって移転するとアクセスが悪くなること等から反対します。病院は今ままでよいので、箱物を必要としない他の有効利用(公園整備等)で再検討を強く願います。	市民総合医療センターについては、本館は築20年程度ですが、本館に隣接し、主要な手術室を備える救急棟については築30年を超え、老朽化や狭あい化が顕著となっています。こうした課題に加え、同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、今回の再整備を通じて、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図っていきたいと考えています。なお、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。
8	大学が都心部に集中しているので、この辺りに大学を作ってほしい。	当該地区において、横浜市立大学以外の教育施設や、産学連携の充実にに向けた土地利用を図っていくことなども引き続き検討していきます。
9	再整備することより医学の研究、医療機器が新しくなり新しい人材を作ることが出来やすいと思う。また今現在新型コロナで多くの集中治療室が不足していることから多く集中治療室を作って欲しい。	再整備を行うことで、ハード・ソフト両面において、大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦として、緊急事態にも迅速・的確に対応しうる病院にしていく必要があります。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
10	今の附属病院の診療科は分かりづらい。患者にとって分かり易い構成、名称にして欲しい。	再整備のコンセプトに「病院利用者に安心感を与える診療環境の整備」を掲げており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
11	「再整備構想(案)」によると、課題の多くが「狭あい化」によるものであるように思います。新しい病院・大学には、最新の医療機器や研究機器、コンピュータ等を導入できるだけの広いスペースを予め確保しておくべきだと思います。最先端の医療や研究成果を市民に提供するためであると同時に、数年後に「狭あい化のため、再整備が必要」と同じことを繰り返さないためにも重要な視点ではないでしょうか。	「狭あい化」は現行施設が抱える主な課題の一つとなっており、そうした課題の抜本的な解決のため、再整備が必要と考えています。長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

12	横浜市大には商学部もあったと思うが、なぜ医学部だけに移転させるのか。	市大にはその他、八景キャンパス(国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部等)等があります。八景キャンパスは耐震性等向上整備事業が完了していることから、今回の再整備では、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を総合的に勘案し、福浦キャンパス・附属病院等、市民総合医療センターを対象としています。
13	コロナなどの突然の災害にも柔軟に対応できる病院の造りにしてほしい。例えば、普通の病床をすぐにコロナ専用病床として使えるような。	再整備を行うことで、ハード・ソフト両面において、大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦として、緊急事態にも迅速・的確に対応しうる病院にしていく必要があります。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
14	看護宿舎はなくなってしまうのでしょうか。宿舎でなくても、病院の近くに職員が安価で住むことのできる住居(アパート・マンション)があると良いです。職場から近いと夜遅い時間に帰宅するときに安心できるし、災害時や緊急時にすぐ病院へ向かうこともできるので。	ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性等を考慮したうえで、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
15	1に記載した案を最優先に考えるべきだと思います。 医学部があったとしても問題に対する直接的・根本的な解決に何も寄与しないので。 1に記載した案と医学部であれば、相乗効果は生まれるかとは思いますが。(例えば人口増加に伴い、人口あたりの病床が不足しているため、増やす必要があるなど)	根岸住宅地区跡地は新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、今回の再整備について根岸住宅地区跡地利用の考え方にも合致するものと考えています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
16	BSL-4 対応施設を整備してほしい。2014年3月に日本学術会議がその必要性を提言している。先進諸国の中で日本だけが遅れをとっている。コロナに限らず、生命の安全・危機管理の観点から、横浜市が率先して取り組んでほしい。	再整備のコンセプトには「市民に最先端で安全な医療の提供につなげる世界レベルの研究推進」を掲げており、今後、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
17	待ち時間や、拘束時間の短縮等を図るため、ICTやAI等を活用した効率的な医療を目指して欲しい。 例えば、スマートフォンと連動させ、逐次診察想定時間を表示	今後、ご要望の趣旨を参考に、患者等へのサービス向上に向けて、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

	させたり、診察 10 分前にお知らせが表示されるなどの対応をして欲しい。	
18	今の附属病院の診療科名は分かりづらい。家族の付き添いで行ったことがあるが、どこに行けばよいのかわからなかった。診療科名がどういうものなのか、わかりませんが、全国的に統一されたものではないのでしょうか？ 何にせよ、利用者にとってわかりやすいものにしてほしい。行政だから、公的機関だから、とか言われないようにしたほうが良いと思う。	再整備のコンセプトに「病院利用者に安心感を与える診療環境の整備」を掲げており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
19	市大全学部を移転すべき。金沢区・南区浦舟地区の土地を有効利用する。(再利用) 海外にあるようなすばらしい市大キャンパスになる事に太鼓判である。	市大には八景キャンパス(国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部等)等もありますが、八景キャンパスは耐震性等向上整備事業が完了していること等もあり、今回の再整備の対象としては、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を総合的に勘案し、福浦キャンパス・附属病院等、市民総合医療センターとしています。
20	病院を整備するのであれば、入院患者の家族にとって行きたくなる様な場所にして下さい。 子供はお見舞いになかなか行きたがらないものですが、子供が遊べる様な場所や、お見舞いの間にお買い物など、他の用事が出来る施設も整備してもらいたいです。	ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性等を踏まえ、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

21	<p>病院は改築で対応して、根岸森林公園の良さである雄大さをいかすため跡地は公園拡張が良いと思います。</p>	<p>土地所有分布図にお示ししているとおり、根岸住宅地区の1／3は民有地であることなど、様々な状況を勘案した結果、跡地利用基本計画（案）として基本方針をまとめたものです。</p> <p>また、背景・目的にお示ししているとおり、戦後70数年に渡り、貴重な土地を使用する制限を受けてきた地権者の方々の想いを汲み、地権者の意見を尊重するとともに、本市としても本市及び本地区が抱える課題や可能性に鑑み、本計画案を策定しており、現時点で全面を公園とすることは考えておりません。</p> <p>なお、根岸森林公園に隣接する部分については、根岸森林公園を拡張し一体利用することで、公園の更なる魅力向上を図っていきます。</p> <p>また、現行2病院が立地する土地での建替えはスペース上の制約や全市域からの広域的な交通アクセス等の観点から再整備候補地として現実的ではありません。</p>
22	<p>病院は改築で対応して、根岸森林公園の良さである雄大さをいかすため跡地は公園拡張が良いと思います。</p>	<p>土地所有分布図にお示ししているとおり、根岸住宅地区の1／3は民有地であることなど、様々な状況を勘案した結果、跡地利用基本計画（案）として基本方針をまとめたものです。</p> <p>また、背景・目的にお示ししているとおり、戦後70数年に渡り、貴重な土地を使用する制限を受けてきた地権者の方々の想いを汲み、地権者の意見を尊重するとともに、本市としても本市及び本地区が抱える課題や可能性に鑑み、本計画案を策定しており、現時点で全面を公園とすることは考えておりません。</p> <p>なお、根岸森林公園に隣接する部分については、根岸森林公園を拡張し一体利用することで、公園の更なる魅力向上を図っていきます。</p> <p>また、現行2病院が立地する土地での建替えはスペース上の制約や全市域からの広域的な交通アクセス等の観点から再整備候補地として現実的ではありません。</p>
23	<p>今後のコロナ対応への「高度急性期」病床は、どこまで検討されたのでしょうか。</p> <p>病床削減は危険と考えます。</p> <p>抜本的な計画を望みます。</p>	<p>病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで10年以上を要する事業と捉えています。再整備のコンセプトとして、「感染症の大流行等、想定を超えた事態にも対応できるゾーニングを備え、十分な医療機能の継続性を確保する」ことを掲げています。病床数については、将来的な医療需要等を踏まえ、経営的な視点をもって、精査を進めていきます。</p>

24	<p>市大病院や学部の移転は必要なのでしょうか？既存の根岸森林公園の拡大充実し、アスレチックエリアとしても利用できるよう開発していただきたい。</p>	<p>中長期的には現行の医学部・附属2病院等が抱える課題の抜本的な解決、医療を取り巻く環境の変化へ適切に対応し、引き続き、市民の健康と命を支える「最後の砦」の存在としてあり続けるため、再整備が必要と考えています。現行の同規模2病院体制は、診療圏の重複や設備投資・管理部門の重複が発生するなど、今後、人口減少社会を迎える中で経営上の課題となっており、大学病院としての機能を最大限発揮し続けるためにも地域医療機関との役割分担を踏まえた、持続可能な運営体制が必要と考えています。そこで、本再整備では大学病院としての機能を1病院に集約する案をお示ししていますが、1病院に集約する土地として、現行地での建て替えはスペース上の制約や、工事期間中の病院運営などの支障が生じるため、再整備候補地として現実的ではないと考えています。一方、根岸住宅地区跡地は現在、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。</p> <p>また、根岸森林公園に隣接する部分については、根岸森林公園を拡張し一体利用することで、公園の更なる魅力向上を図っていきます。</p> <p>なお、今回公表した跡地利用基本計画（案）は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していくこととなります。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
25	<p>「医学部・附属2病院等の再整備の方向性」には、大学病院と医学部を集約すると記載されていましたが、他のキャンパス（金沢八景、舞岡、鶴見）は一緒にしないのでしょうか。これだけ影響力のある取組なので、いっそのこと横浜市立大学の全てのキャンパスを集約し、「横浜市最大の学園都市化計画」等とした方がメリットもインパクトもあると思います。（むしろ学年ごとに通うキャンパスが違うというのは不便です…）</p>	<p>市大には八景キャンパス（国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部等）等もありますが、八景キャンパスは耐震性等向上整備事業が完了していること等もあり、今回の再整備の対象としては、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を総合的に勘案し、福浦キャンパス・附属病院等、市民総合医療センターとしています。本再整備が市大のプレゼンス向上に資する取組となるよう、具体的な検討を進めていきます。</p>

26	昔から横浜市大病院があった浦舟を離れるのは寂しい。病院と医学部が一緒になるのに商学部が一緒にならないのはなぜか。どうせなら全学部一緒になって横浜市大をもっとアピールしてほしい。	市大には八景キャンパス(国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部等)等もありますが、八景キャンパスは耐震性等向上整備事業が完了していること等もあり、今回の再整備の対象としては、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を総合的に勘案し、福浦キャンパス・附属病院等、市民総合医療センターとしています。本再整備が市大のプレゼンス向上に資する取組となるよう、具体的な検討を進めていきます。
27	他のキャンパスも全部一緒にしてほしい。自分は市大の卒業生だが周りに何も無い金沢八景にあることにメリットがないと思う。校舎も古い。横浜といっても横浜の端にあるので遊んだりバイトする場所が少ないし魅力がない。それか神大や関学のようにみなとみらいにキャンパスを作してほしい。	市大には八景キャンパス(国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部等)等もありますが、八景キャンパスは耐震性等向上整備事業が完了していること等もあり、今回の再整備の対象としては、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を総合的に勘案し、福浦キャンパス・附属病院等、市民総合医療センターとしています。本再整備が市大のプレゼンス向上に資する取組となるよう、具体的な検討を進めていきます。
28	<p>計画書によれば、病院移設・拡大の必要性和内容、立地分析等が記載されているが、ここでは横浜市立大学医学部と付属病院に期待する機能の充実に向けて、特に国際性と観光との関連の中で論考する。</p> <p>1. 地域振興のふたつの方法</p> <p>わが国の医療、看護、介護は、極めて高い水準にあることは世界的に認めるところである。横浜は長崎とは異なり、明治初期より英国や仏国、独国の医学、薬学を積極的に取り入れてきた。いわば現代医学、薬学の開祖の地ともなっている。一方で横浜は、明治期や大戦後に多くの外国人を受け容れ、その生活文化や習慣に馴染んできた地域でもある。</p> <p>国家や地域が経済的に豊かになる方法はふたつある。当該地域で生産された物を地域外で販売することにより対価を得る移出型地域振興がそのひとつである。もうひとつは、生産物に</p>	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

競争力が無い場合や優れた風土資産を持つ場合など、地域外から人を呼び込んで、滞在している間に消費を誘導する観光型地域振興である。

わが国が豊かになってきた要因は、いうまでもなく輸出による外貨の獲得であった。絹などの農産物、鉄鋼、造船、自動車、IT系の流れである。いずれも第1次産業と第2次産業の技術に支えられた品質である。今後は大国間の貿易はそのままに、新たな可能性として巨大市場とみられる発展途上国家に、わが国の「技術」を如何にして伝播し植え付けるかである。

これは「技術」という目に見えない物を「人」を通して具現化すること、すなわち人材育成である。「技術」やノウハウは「人」に依存するため価値化することが難しいが、明らかに高付加価値であり価格と連動する。人材育成は教育であるが、人々は教育には対価を支払う。

## 2. 求められる機能

そこで新たに整備される横浜市立大学医学部・附属2病院には、次のような機能を求めたい。

### (1) 外国人の人材育成拠点化

教育を通して海外からの人材の育成を行うことは、貿易や観光に変わって外貨を獲得するための振興策のひとつとなる。同時に横浜やわが国の文化、伝統、生活様式、物事の考え方を広く世界に伝播する役割を持つ。留学やホームステイにより、自国の文化等を周辺地域に広げた例としては古代ローマ（侵略によらない帝国主義）があり、現代では（やり方に問題があるが）中国が挙げられる。

現在の法制度で、海外から医学や看護学を学ぶために来日する外国人に対しては、出入国管理上で大幅に規制が緩和され

ている。高い知識と技術を身につけた人材は、必ずしもわが国で働く必要ない。母国やその他の地域で、横浜で育まれた知識と技術を持って医療、看護、介護に従事すれば良い。

現在は東南アジアを中心に人材が集まっているというが、今後の市場はカリブ海諸国（CARICOM）、中南部太平洋地域※1、中央アジア、アフリカ諸国（TICAD）等になると思われる。これら国々では JICA による地域振興の実績がある。これらの地域では医療は外国人医師等に頼る他、重病の場合には医療の進んだ他国に搬送している。医療に対する需要は高いが貧困層では医療が受けられない。

これらの地域を挙げるその他の理由としては、いずれも小国であるが国連では 1 票を持っている点がある。軍事化や経済投資によらない親日地域の拡大や、国連での常任理事国獲得に向けたわが国の国際的な存在感を強化する効果も期待できる。

#### (2) 健康効用型観光※2 の推進

観光型地域振興の中で注目されるのは、観光が目的型になってきており、その目的の中で「健康に関わる行動」の占める割合が増加していることである。

疾病を患い治療を受ける際に、患者にとって療養環境は重要である。療養地や病院等を選択する場合でも、人々は自分の好みに合った場所や病院を選択するようになった。人々が豊かになってきたことや、医療機関が量的にも増え、同時に多様化したことが背景にある。

ここに観光の要素が見いだせる。病院の医療技術や医師・看護師の水準の高さに変わりがなければ、同じ治療を受けるなら、自然が豊かな所、利便性が高い所、文化や歴史の香りがする所

など、病院選択には観光地選択と同じメカニズムが働く。近年観光でもみられる顕著な傾向は、地元の人と同じ物を食べ、買い物をし、同じような生活を体験することである。横浜市立大学医学部附属病院が目指す市民生活との親和性や患者、被介護者等と市民との接点をもつこと、市民との交流促進などは、そのまま患者の滞在快適性となる。健康効用型観光を都市部で行うこととなる。

健康は、栄養、休養、運動の三要素からなることは知られている。病院の専門家が指導する体操教室や健康増進教室等の開催や食事・栄養指導、料理講習会などは、医療や介護を受ける人々と共に市民が参加することで、病院は市民生活の向上に貢献し、患者は市民とふれあい価値を共有する効用を得る。

今般横浜市立大学医学部附属病院が立地する地区は「根岸住宅地区跡利用基本計画」によれば、都市公園に隣接しており安寧な治療環境に適している。この公園等を利用したり、遊歩道を散策することも考えているならば、トイレも含めて完全バリアフリー化すべきであるし、治療やリハビリする人が安心して利用できる場所になるべきと考える。

横浜市は極めて知名度が高く、国際的にも非常に人気のある都市※3である。都市的環境の利用、アーバンリゾートなど高付加価値の生活を楽しみながら治療を受けること。憧れの都市で過ごし治療に専念すること。楽しいリハビリ。これらは見方を変えると観光であり、健康を強烈に志向する観光の内容となる。

具体的に健康効用型観光を実践している例としては沖縄県のマリニピアザオキナワ（海洋性リゾートにおける健康効用型観光）があり、理事長は元名桜大学観光産業学部教授で同時に

琉球大学医学部外科における甲状腺の専門家でもある。イルカを用いたアトピー治療や自閉症治療（DAT：Dolphin Assisted Therapy）を行っており、近年では女性を対象とするダイエットプログラムも人気が高い。

### (3) 儲かる病院:マーケティングの必要性

横浜市立大学医学部付属病院は、第一義的には横浜市を中心とする総合医療拠点となることだという。人材育成のターゲットは発展途上国の人材に焦点を当てるが、医療や介護、リハビリや健康診断を求める人々の市場としては中国に注目する。中国はわが国以上に高齢化が進み、一人っ子政策の後遺症もあって生産人口が急速に収縮していることが背景にある。一方で経済の発展による所得格差は大きく広がっているが、富裕層は厚みを増す傾向にある。経済的には投資先として海外市場を見ており、人材的には欧米等への留学が盛んに行われている。観光的にはビックバンの様相を呈しており、わが国でも中国人の爆買いが話題にもなった。

医療・介護や保養、リハビリを海外に求めることも次第に顕著となっているが、現状をデータで捉えることが難しい。海外渡航の目的を健康効用型観光の中でアンケート調査することも試みられているが、兼観光のカテゴリーに集約され、治療や健康診断といった目的を明らかにする選択肢がないために実態がつかめていない。

着地側の調査で「治療のため」「健康診断のため」「リハビリのため」に来日したという結果はあるが、母集団が明確でないために研究や経営資料としては不十分である。発地側の潜在需要調査も乏しく、統計分析に耐えられる精度の調査が求められる。

医療や介護、リハビリ、保養も含めて、中国が大きな市場になっていることは確かなことだが、科学的な調査分析と研究が急がれる。

### 3. 病院と接遇は語源が同じ

病院 (HOSPITAL) と接遇 (HOSPITALITY) は、元々ラテン語の HOSPIS に由来している。キリスト教の巡礼が盛んになっていった頃、交通利便性の高い教会や修道院には多くの旅人が集まった。教会等ではこれらの人々に飲食を与え、病の人々に対しては治療を行った。やがて利用者が多くなると、教会等では神に祈りを捧げるといった任務に障りが出始め、飲食・宿泊部分と治療をする部分を教会等から切り離した。これがレストランやホテルとなり、一方では病院となっていった※4。酒の中にはベネディクションやシャトリューズのように修道院等で薬に使われたという由来を持つ物も多い。

大学教育の中で看護学部と観光学部がカリキュラムやインターンシップを共有している例としてはハワイ大学マノア校があり、わが国でも名桜大学観光産業学科を創設※5 した際に、環境部門と看護部門を取り入れようとした経緯がある（現在は看護学部がある）。

### 4. 横浜市立大学医学部附属病院に期待される国際性

中国をはじめ東南アジア地域からの健康診断、リハビリ、高度医療の需要に対応し、発展途上である TICAD や CARICOM 等、また中央アジアなどから積極的に人材を受け入れて育成するプログラムを構築することに期待する。国際的なわが国への信頼感の醸成と、横浜が介護等を含めた総合医療拠点として

<p>認められる布石を御校が打つ。</p> <p>病院経営を多角化することは、単に病院の経理を健全化するに留まらず、同時に市民のみならず国際的にも信頼感と親近感を育むこととなる。医療の目的の中に「国民の福祉の向上」があるならば、これは観光の目的とも合致する。最終的に市民(国民)が育てる病院を目指して欲しい。</p> <p>観光が観光者の効用を高めるだけでなく、究極的には地域の発展を促す源動力であれば、その手法として医療・介護と健康をキーワードにした病院は、機能を高度化することによって複合的な効果を地域社会にもたらすことが期待される。さらに国際貢献に大きく寄与すると期待できる。</p> <p>医療・介護の充実の延長上に、観光と結びつく健康効用型観光が成立し、生活者にとっての利便性と安心感が、観光者にとっては滞在空間における快適性の創造となる。その結果、地域の住民生活と観光者の滞在生活の境(ボーダー)がなくなる。結果として横浜は「住みやすいまち」が実現する。その都市の魅力が対外的には観光目的地選択の大きな要因となる。御校の将来ビジョンの中に、都市的魅力の創造を加味してもらいたいし、その手段として人々の動きや交流、すなわち観光の視点を加えていただきたい。</p> <p>※1 JICAの研修プログラムにより、17年間に渡ってこれらの国々の地域振興、観光振興に関わってきた。</p> <p>※2 出口と小濱が提唱する概念。Health Claim Tourism 観光の形態は高齢社会を背景として、最終的には肉体的、精神的に健康を志向する旅行形態になるとする。</p> <p>※3 クルーズ需要分析では、横浜港は長年にわたって「立ち寄りやすい都市」の1位を続けている。</p>	
--	--

	<p>※4 The British Hotel and Catering Industry, S.Medlik 1961 に詳しい。</p> <p>※5 小濱は、名桜大学の創設にかかわり、観光産業学科を立ち上げた。</p>	
29	<p>1 同様、エコ・緑化などを追求した地区内にある、病院・大学として、機能が優先ですが、建物としてもこれまでの白い無機質なものではなく、人が集まりたくなるような、見た目にも温かい雰囲気の病院・大学だとよいかと思いました。</p>	<p>ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開院まで 15 年は長い。10 年以内に再整備できるように頑張ってもらいたい。</li> <li>・最高の機能と設備を備えて、市民が自慢の出来る日本一の病院を作ってください。</li> <li>・外来通院しやすいように工夫をお願いします。</li> <li>・現行 2 病院の跡には、小さくても良いので病院を残してください。</li> </ul>	<p>ご要望の趣旨を参考に、今後、現行 2 病院の跡利用や、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
31	<p>大学病院の抱える問題点を知り、移転計画には賛成します。ただ、斜面の地盤整備にかかる費用など、通常の平地での工事とは比べ物にならない工費が予想されるため、安全性と経済性のバランスの取れた工法の取り入れなど、費用面で市民が納得できる工夫が必要かと思えます。</p>	<p>事業手法・事業費については、工期短縮、経費節減、多様な財源確保を目指し、多角的に研究を進めるなどし、再整備の具体化に向けた検討をとりまとめ、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転先候補案の再検討。他の場所でいい。</li> <li>山ではなく、平地が良い。住宅地や公園に隣接してない方がよい。救急搬送時に道路が渋滞する。(四方の道路幅考慮) 通院・通学・通勤時も同様。</li> <li>30 年前、なぜ浦舟から福浦に移転したのか。学生のうちから、便利より不便もある中で心を研くことも人材育成の一つと思う。</li> </ul>	<p>根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。周囲の環境との調和や病院利用者等の利便性等を十分考慮し、交通アクセスの課題に対する対応など、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。また、病床数については感染症の大流行等、想定を超えた事態に対応できるゾーニング・設備を備え、十分な医療機能の継続性を確保することを前提に、今後、供給過剰が見込まれる高度急性期病床数を見直し、1000 床程度を基本に、今後、全市的な</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床 高度急性期病床数は、いざという時の為に減らさなくてもいいのではないか。</li> <li>・低額の宿泊施設 敷地内若しくは近隣に、難病や遠方から来られる方々の本人・家族が泊まれる低額の宿泊施設を。</li> </ul>	機能別病床数の推計等を踏まえ、経営的な視点をもって、更に精査を進めていきます。
33	近くに大規模病院もあるので、大規模災害時に野営病院にも。	再整備を行うことで、ハード・ソフト両面において、大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦として、緊急事態にも迅速・的確に対応しうる病院にしていく必要があります。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
34	24時間365日営業する病院を作りたい。寮や医者の住宅も作り、夜間に手薄にならないような病院を作りたい。	地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
35	これからの病院は、人工知能が十分活躍するスマートホスピタルが中心になる。そのようにしなければいけない。整備費用も莫大になると思うが、人のランニングコストの方が高いはず。スマートホスピタルの方が安く上がるはずである。金額だけの問題ではないが、行政投資は大きな課題である	社会情勢を捉え、医療サービスの高度化・先進化と、更なる業務の効率化に向けた取組は必要と考えています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
36	再整備するのはいいが、行政は運営から手を引くべき。民間の病院のほうが、どこもきれいだし、待ち時間も少ない。公は病院運営から手を引くべきだと思う。公務員が何かやってもうまくいかない。	再整備のコンセプトとして、病院利用者に安心感を与える診療環境を整備し、適切な医療サービスの提供を図ることを掲げています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
37	病院に用がある人しか通行をさせないアクセスコントロールと病院内での手続き（初診・再診・入退院・面会等々）とも連動させてどうでしょうか？ 全国の大規模病院の手本となり、今後の横浜市民に喜ばれるような先進的かつユーザーフレンドリーな仕組みで運営してほしいと思います。	ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

38	<p>基本的には技術はすぐに古くなる。常に最新の医療ができるよう、設備は機器は十分考えて導入してほしい。</p>	<p>今回の再整備のコンセプトとして、他の医療機関では対応が困難な重症患者や、希少疾患・難治性疾患等の患者を救うため、最先端医療機器の導入や手術室の高機能化を図るなど、高度かつ専門的・先進的医療を提供することを掲げています。大学病院としての役割をしっかりと果たすことができるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
39	<p>2つの病院の統合は良いのですが、今後高齢化が進むにつれ、ますます病床数の増大が必要となると説明リーフレットにも書かれているのに、逆に2つの病院の総病床数を縮小する計画となっています。これで最後の砦となる市民病院の入院患者の受け入れは安全に機能するのでしょうか？少なくなった病床はどこで補填するのでしょうか？減らしたままでしょうか？人口減少を見込んでいるのでしょうか？入院を減らして通院や訪問診療、グループホームのような形態を目指しているのでしょうか？病床数を減らしてもこれからの高齢化に対応できるのか、リーフレットに追加するかホームページに記載して説明してください。</p>	<p>病床数については感染症の大流行等、想定を超えた事態に対応できるゾーニング・設備を備え、十分な医療機能の継続性を確保することを前提としています。一方で、今後、需要が増大する回復期・慢性期機能は大幅な不足が見込まれますが、市大病院が主に対象とする高度急性期病床は、今後、供給過剰が見込まれることから、1000床程度に見直すことを基本に、今後、全市的な機能別病床数の推計等を踏まえ、経営的な視点をもって、更に精査を進めていきます。今後、再整備に係る具体的な検討を取りまとめ、再整備基本計画として、改めて、市民意見募集等を行っていく予定です。</p>
40	<p>病床数については「新型コロナウイルス」禍の実態をふまえたものでしょうか。 高度急性期の病床数が565床減することは？ 練り直してください！！</p>	<p>病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで10年以上を要する事業となりますが、病床数については感染症の大流行等、想定を超えた事態に対応できるゾーニング・設備を備え、十分な医療機能の継続性を確保することを前提としつつ、市大病院が主に対象とする高度急性期病床は、今後、供給過剰が見込まれます。そこで、1000床程度に見直すことを基本に、今後、全市的な機能別病床数の推計等を踏まえ、経営的な視点をもって、更に精査を進めていきます。</p>
41	<p>浦舟病院は以前にも移転という話があったが、結果的に現在の場所に残ったと認識をしている。 旧浦舟病院棟を改修して福祉施設として利用しているが、そちらの建物の方が古いのだから福祉施設を旧南区役所跡地へ移転して旧浦舟病院とその隣地に2病院統合整備を行う事は</p>	<p>市民総合医療センターで統合再整備を進める場合、現行の病院は容積率400%を最大限に活用しているため、一体整備する医学部や研究施設のために隣接地に新たに約2万㎡以上の土地を確保する必要がありますが、ご意見いただいた土地を含め、周辺地に該当する敷地を確保することは困難と考えています。一方、当該地区については、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を</p>

	考えられないだろうか？	概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
42	3. その他 今後、経験する可能性に対応できる災害等に強い、インフラ整備を期待します	再整備を行うことで、ハード・ソフト両面において、大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦として、緊急事態にも迅速・的確に対応しうる病院にしていく必要があります。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

## (2) 交通アクセス

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>市大病院の移転には正直反対です。</p> <p>理由として、交通の便が悪すぎる事です。</p> <p>駅からバスがあったとしても、乗り継ぎは苦痛です。</p> <p>ただでさえ、市大病院に通う人は、大きな病を抱えている人たちです。その人たちの負担になるような場所に移転する事は、断じて止めてもらいたいです。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点等の周辺道路の改良や、J R根岸駅からのバス路線新設や既存バス路線の見直し等によるバス路線の整備、乗客の負担軽減に向けた更なる環境改善などについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>なお、現在は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。</p>
2	<p>「市全域からのアクセス性が高い市中心部」とのことですが、全くそのように感じられません。資料を作った方は実際に市の全域からアクセスしてみたのでしょうか？そもそも広い横浜市なのに、市全域からのアクセスを想定する必要がありますか？市の中心部に造ったからと言って、わざわざ遠くから来ませんよね？普通は近くの病院へ行きます。そもそもバスを使わないと到達できないような高台にある時点で、アクセスが良いとは言えないのではないのでしょうか。病院へ来るお年寄りなどのことを考えると、駅からそれほど離れていない平らな場所にするべきだと考えます。</p> <p>あくまでも本地区にこだわるのであれば、みなとみらい線を早期に根岸まで延伸させ、崖にエスカレーターなどを造るべきです。そうすれば、北部や臨海部からのアクセスもかなり良くなるはずですし、「アクセス性が高い」と胸を張って言えるはずで。正直、資料を読むと病院ありきで理由は後付けされ</p>	<p>再整備後の新病院については、高度救命救急センターや、災害拠点病院等の役割から、全市域から患者を搬送する可能性があり、広域的な視点で交通アクセスを考慮する必要があります。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>また、みなとみらい線の延伸に関し、頂いたご意見については関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

	ているようにしか感じられません。	
3	<p>2つの大学病院があつて何がいけない？というのが率直な感想です。金沢区の市大附属病院は新都市交通システムシーサイドラインの駅と直結するなどまさに未来を見据えたものです。それを一つに統合して、最寄りの駅から標高差50メートルもある高台に移転する構想など全く論外ですし、利用者の事を全く考慮していません。病院というのは健康ではない人が使う施設。そこに行くのに50メートルの丘を登る、混雑したバスで向かうというのはあり得ない。わざわざ統合する意味が理解できません。不便で使いにくい公立病院は横浜市民病院だけで十分です。市大医学部・附属病院の統合には強く反対し、再考を求めます。</p>	<p>現行の同規模2病院体制は、診療圏の重複や設備投資・管理部門の重複が発生するなど、今後、人口減少社会を迎える中で経営上の課題となっており、大学病院としての機能を最大限発揮し続けるためにも地域医療機関との役割分担を踏まえた、持続可能な運営体制が必要と考えています。また、再整備候補地について、根岸住宅地区跡地は現在、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
4	<p>2つの大学病院があつて何がいけない？というのが率直な感想です。金沢区の市大附属病院は新都市交通システムシーサイドラインの駅と直結するなどまさに未来を見据えたものです。それを一つに統合して、最寄りの駅から標高差50メートルもある高台に移転する構想など全く論外ですし、利用者の事を全く考慮していません。病院というのは健康ではない人が使う施設。そこに行くのに50メートルの丘を登る、混雑したバスで向かうというのはあり得ない。わざわざ統合する意味が理解できません。不便で使いにくい公立病院は横浜市民病院だけで十分です。市大医学部・附属病院の統合には強く反対し、再考を求めます。</p>	<p>現行の同規模2病院体制は、診療圏の重複や設備投資・管理部門の重複が発生するなど、今後、人口減少社会を迎える中で経営上の課題となっており、大学病院としての機能を最大限発揮し続けるためにも地域医療機関との役割分担を踏まえた、持続可能な運営体制が必要と考えています。また、再整備候補地について、根岸住宅地区跡地は現在、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>

5	<p>市が提案した市大2病院移設を中心とした利用計画について。市大2病院は建設から30年近くが経過して、老朽化、狭隘化が目立ってきたとのことですが、本当に耐用年数が限界に近づいて立て替えが必要なのでしょうか？</p> <p>これから建築計画を進めて、10～15年後の完成を見込めば、老朽化が進むことも考えられますが、まずは2病院の耐用年数の再検討が必要です。</p> <p>2病院を根岸の1病院に統合した場合に現在、福浦と浦舟で機能している地域救急医療・重点医療体制をカバーできるでしょうか。特に金沢区では地域の救急医療を担う体制が弱くなり、また近隣自治体の逗子市や横須賀市の住民医療にも影響を及ぼすので、検討が必要です。</p> <p>計画でも触れられていますが、駅から1Km、高低差が50mある小高い丘の上にある跡地は徒歩では行きにくい立地であり、交通網の整備が必要です。特に病気を抱える人にとって坂道はきつく、アクセス手段の確保が絶対条件とも言えます。</p> <p>しかし道路利用は限定されており渋滞や事故、災害などを想定すると徒歩での利用が困難な場所に、横浜の地域医療・高度医療の中核となるような病院を建てるのはリスクが高いと考えられます。</p> <p>現在の市大2病院は駅からもすぐ近くで、平地であり道路も複数利用できることと比べると、アクセスのしやすさに大きな開きがあります。</p> <p>将来を見据えて、根岸住宅地区跡地の利用を計画することが必要です。</p> <p>しかし現在、新型コロナウイルス感染症によって、経済は停滞して市税収入も大幅に減少することが見込まれています。こ</p>	<p>施設の狭あい化や老朽化のみならず、同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図っていくため、大学病院を1病院に集約する再整備について検討を進めていきたいと考えています。現行2病院の跡利用等については、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、今後、具体的に検討を進めていきます。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
---	---	--

	<p>れがいつ回復するかも見通せない中で、大規模な財政支出を伴う、病院整備計画は先送りして再検討するべきではないでしょうか。</p>	
6	<p>立地がとても不便で、交通の便が悪すぎると思います。バス便を作るといっても道路は一つしかないし、渋滞はするし、働く人にとっても通院する人にとっても不便ですので、反対です。</p> <p>根岸のところに作るなら、渋滞等に関係な電車の路線をひいてください。市大センター病院位の立地の良さではないと通えません。</p> <p>市大センターの隣の横浜市のビルと統合して大きくしたらいいと思いますし、あの立地だから三次救急として機能がはたせていると思います。そもそも働いてる人や通院している人は2病院統合を望んでません。</p> <p>目先の利益だけでなく、考えて検討して欲しいです。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にあります。周辺の鉄道駅から約 1 kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R 根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>なお、大学病院等の再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、現行のセンター病院は容積率 400%を最大限に活用しているため、一体整備する医学部や研究施設のために隣接地に新たに敷地(現行の医学部等の延床面積、病床数の増加分等から約 2 万㎡以上)を確保する必要がありますが、現状の立地状況から、周辺地に医学部・研究施設を整備する敷地を確保することは困難です。一方、根岸住宅地区跡地は現在、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。</p>
7	<p>不便になります。</p>	<p>駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
8	<p>福浦については交通の便が良いと言っているにもかかわらず、再整備に当たっては市内全域からのアクセスが良くないというなど分析が矛盾している。現状施設では市内からのアクセスが良くないというなら、根岸の跡地などさらにアクセスが悪いではないか？●や●が通うにはバスではなく鉄道駅</p>	<p>福浦地区については駅直結のアクセスが利点となっていますが、市南端に位置するため、高度救命救急センターや、災害拠点病院等の役割から、全市域からの広域的な視点で交通アクセスを捉えた場合、利便性が高いとは言えないと考えています。現行の同規模 2 病院体制の継続は、診療圏の重複、設備投資・管理部門の重複など、今後、人口減少社会を迎える中で、経営上の課題となることから、大学病院としての機能を</p>

	<p>の至近が必須であろう。浦船に向かうバスで病院に通う人たちはとても大変そうだし運行に伴う揺れなども鉄道に比べて比較にならないほど危険です。わざわざバス便利用が必須の地に病院を立てるなどという発想自体おかしい。タクシーを乗る人など限られているのですよ。不便なところに大金をかけるなら、既存を活用することに大金をかけるべき。新しく建物を作らないとゼネコンが儲からないからやるのか？</p> <p>また、再整備後にどのような医療施設が残されるのかについて言及しておらず、このような移転ありきのみの案を提示するのは無責任極まりない。再整備後の案が良いものなら賛成もありうるが、きちんと最後まで検討しなければならない。それが行政の責務だ。</p>	<p>1 病院に集約する必要があると考えています。根岸住宅地区は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、ご要望の趣旨を参考に、交通アクセスの課題や、現行2病院の跡利用などの再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
9	<p>交通アクセスが心配。入院は多少不便でも良いかもしれないが、高齢なので外来受診は不安だ。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
10	<p>浦舟町のIBDセンタに命を繋いでもらっています。それほど致命的に古くなっているという印象は受けませんが、患者の利益につながるなら新しい場所にリニューアルするというのは受け入れられる話です。</p> <p>問題は立地で、公共交通機関が壊滅的な地区なので、地下鉄乗り入れは必須かと。バスでのピストン輸送は非現実的です。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めて</p>

	資料には水害のことが記載が少ないのですが、大規模な水害が起こったときに、根岸住宅のあたりは陸の孤島になります。そのあたりを考慮した交通機関の整理が必要でしょう。	いきます。 なお、水害等を含めた様々な大規模災害時には、現在の病院の立地と比較しても災害拠点病院として根岸は適地と考えており、今後、ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性等を踏まえ、交通アクセスの課題等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
11	超高齢化社会で自宅療養者が増えこの計画には市民サービスという観点が欠けている。 センター病院は平坦な土地で駅から近く車イスでも通える。付属病院はシーサイドライン直結である。 同じサービスを維持するためモノレールを設置。	根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。 具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。 なお、現在は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。
12	・病院は、健康な人間が行くのではなく、バス交通では、乗降の負担や移送人数の問題等、弱者に対して配慮がない。 ・福浦への移転から 30 年越える様々な問題が起きるのは理解できるが現在の技術で現地に建て替えが本当に現実的でないのか非常に疑問が出る。表に出さない国有地返還の他の問題をすり替えているように思う。長期計画が甘すぎる	現行 2 病院が立地する土地での建替えはスペース上の制約や全市域からの広域的な交通アクセス等の観点から再整備候補地として現実的ではありません。 なお、根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。 具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。 今後、ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性等を踏まえ、交通アクセスの課題等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
13	根岸米軍住宅あと地に市大病院を建設という案についての意見です。	根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図

	絶対に反対です。今の浦舟病院は地下鉄から通えますが、地下鉄沿線にはJRもないし、バスでのりつぎになります。高齢者にとっても今通っている人も鉄道が使えず不便です。バス運転手が減少している中、いくらバスがふえても利用する人にとっては悪条件です。根岸は不便なのでぜひ、考え直しをお願いします。	<p>っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>なお、現在は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。</p>
14	専門性の高い高度医療を市内の各所から受けられるようにするために、みなとみらい線の根岸駅までの延伸を早期実現すべきだと思います。	<p>根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>なお、みなとみらい線の延伸に関し、頂いたご意見については関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
15	交通手段がバスや自動車(タクシー)になるので不便。大学キャンパスと考えた場合、都市型のモノレールを(例えば堀割川沿いに支柱を立て、①地下鉄吉野町⇄②市大病院⇄③根岸公園⇄④JR根岸駅まで)すべき。 交通アクセスを最初から考えるべき！！ ※約10年と考えて交通アクセス等を考えるべき。小手先ではダメです！！	<p>根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
16	病院や大学の誘致が悪いとは思いませんが、浦舟の病院が老朽化している印象はなく、また現在通院されている方にとって、アクセスが悪くなる方が増えるのではないのでしょうか。大学はともかく、病院を高台の場所に作るのですしたら、バスルートを増やしたり、根岸駅など最寄り駅からのアクセスを整えたうえでないと、意味がないと思います。 特に鉄道に比べるとバスはどうしても密になり、輸送できる人数も少ないので、根岸駅から階段を登らずにアクセスでき	<p>市民総合医療センターについては、本館は築20年程度ですが、本館に隣接し、主要な手術室を備える救急棟については築30年を超え、老朽化や狭あい化が顕著となっています。病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで10年以上を要する事業であり、それまでの間も老朽化等が進行します。こうした課題に加え、同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図っていくため、大学病院を1病院に集約する再整備について検討を進めていきたいと考えています</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1k</p>

	<p>る手段(現在階段の場所にエスカレーターを設置するなど)を整備したうえで、進めていただけたらと思います。</p>	<p>mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R 根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>今後、ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性等を踏まえ、交通アクセスの課題等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
17	<p>はじめてうかがいました。周りの住民も知らないと思います。坂の上の交通の便利の悪いところに病院を作ってしまうと、車も混み、子供たちも安心して過ごせる場所ではなくなります。</p> <p>数少ない候補地とありますが、地下鉄の駅の近くなどまだまだ考えられる場所はあると思います。こちらに作ってもお年寄りなどはどのように通うのでしょうか？</p> <p>市民の意見を聞いて下さい。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R 根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>なお、現在は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。</p>
18	<p>横浜市立大学医学部・附属 2 病院再整備の最有力候補地として根岸米軍跡地は不適切だと思います。駅から遠く、利便性が高いとはとても言えません。</p>	<p>根岸住宅地区跡地は現在、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。</p> <p>なお、当該地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R 根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>

		<p>今後、ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性や交通アクセスの向上など、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
19	<p>こんな高台に大規模な病院と大学が必要なのか？</p>	<p>本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、ご要望の趣旨を参考に、周囲の環境との調和等を踏まえ、交通アクセスの向上など、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
20	<p>横浜市立大学医学部・附属2病院等の再整備構想について、2病院が同一場所に設置されるのはとてもいい案だと思うのですが、根岸住宅地区跡地は駅から遠く、電車とバスを併用して通院するのは、持病持ちの人には大変な気がします。駅近くの公共施設を根岸住宅地区跡地に移設して、大学病院はアクセスを意識した場所に設置していただきたいと感じています。</p>	<p>根岸住宅地区跡地は現在、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。また、今回の再整備の対象としては、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を総合的に勘案し、福浦キャンパス・附属病院等、市民総合医療センターとしており、他の公共施設の統廃合・再配置は難しいものと考えています。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>今後、ご要望の趣旨を参考に、病院利用者の利便性や交通アクセスの向上など、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
21	<p>近所に大学病院があればいざという時助かりますし、緑の多いところに建てば入院患者さんにとって環境は良いのかなと思います。駅から遠く、バスがあるとは言え、便の悪いところに建てるのは、通院患者さんにとって良いとは思えません。再検討して欲しいです。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに</p>

		<p>検討を進めていきます。</p> <p>なお、現在は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。</p> <p>今後、地域医療機関との役割分担を踏まえ、交通アクセスの向上など、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
22	賛成ですが交通面でバス循環（日中だけでなく夕方以降も）が多ければ安心していられます	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
23	浦舟は三次救急の役割を担っており、それが現在の場所から山の上へ移動すれば、人命のために 1 分 1 秒を争うなかで大きなデメリットではないか。さらに山元町の通りも南区側の坂も道路が 2 車線で渋滞が起きたら救急車の移動は困難である。構想段階で、現行浦舟の三次救急の扱いの将来像について言及するべきではないか。	<p>新病院では現行の市民総合医療センターが有する高度救命救急センター機能を備えることを想定しており、市全域からのアクセス性の高い市中心部が望ましいと考えています。根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、病院利用者の利便性等を考慮したうえで、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
24	横浜市にとっては非常に良いことだと思いますが、通学、通院する当事者にはJR駅や地下鉄駅からのアクセスはちょっと不便ですね。	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>

25	<p>病院はあっても良いと思うが、身体の不自由な方や病を抱えた方がアクセスするには大変だと思う。</p> <p>バスやタクシーと考えるのは簡単だが、医療費がかかる立場から少しでも出費を抑えたいと考えると便利な病院に変更する可能性もある。経営的な面からも難しくなるのでは？と思う。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点等の周辺道路の改良や、J R根岸駅からのバス路線新設や既存バス路線の見直し等によるバス路線の整備、乗客の負担軽減に向けた更なる環境改善などについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>今後、地域医療機関との役割分担等を踏まえ、経営的な視点をもって、大学病院等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
26	<p>今の立地の方が交通アクセスの面で圧倒的に良いので市大病院の移転は行わず、今の場所で建て替え・整備するのが望ましいかと思えます。</p>	<p>現行の同規模 2 病院体制は、診療圏の重複や設備投資・管理部門の重複が発生するなど、今後、人口減少社会を迎える中で経営上の課題となっており、大学病院としての機能を最大限発揮し続けるためにも地域医療機関との役割分担を踏まえた、持続可能な運営体制が必要と考えています。そこで、本再整備では大学病院としての機能を 1 病院に集約する案をお示ししていますが、1 病院に集約する土地として、現行の場所では、土地スペースの制約や再整備に係る事業規模・期間等を考慮すると、再整備候補地として現実的ではないと考えています。今後、ご要望の趣旨を参考に、交通アクセスの向上等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
27	<p>山の上は大きな病院に行くのもバスを乗り継がなければいけないので賛成。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
28	<p>医学部キャンパスのみの移転なら賛成。</p> <p>病院の移転は、地下鉄、JR、京急、どの駅からも遠く、バスやタクシー利用が不可避となり、通院に余分な費用がかかるのは歓迎されないと思う。</p>	<p>大学病院は医学研究を臨床に転換することが基本であることから、新たな附属病院は診療（附属 2 病院）・教育（医学部）・研究機能（研究施設等）を一体として整備したいと考えています。</p> <p>なお、根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約 1 k</p>

		<p>mと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、JR根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>今後、病院利用者の利便性等を踏まえ、交通アクセスの向上など、大学病院等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
29	<p>1. 大学のキャンパスと病院の設置につきまして、大学については跡地利用の構想書で言うところの『文教施設』なので理解できますが、病院は一般的には文教施設ではありません。 つまり、跡地利用の構想書では病院の設置を想定していないこととなります。 そのあたりの整合性についてご説明頂ければと思います。</p> <p>2. そもそも病院をこの不便な場所に設置することの積極的な理由はあるのでしょうか？ 歩いてアクセスすることは現実的ではなく、バスを増設する場合にも最寄駅からの道路状況が悪過ぎて周辺の生活にまで影響が出ることは容易に想像できます。 『他に土地がないから仕方ない』という意味合いの内容が書かれていますが、ずいぶん前からこのような事態になることがわかっているはずなので、瀬谷にテーマパークなど誘致している場合ではないのではないのでしょうか？</p>	<p>大学病院は医学部施設と一体不可分であるため、根岸住宅地区跡地利用基本計画案に記載の文教施設に合致するものと考えています。</p> <p>当該地区について、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討し、再整備基本計画としてとりまとめ、改めて、市民意見募集を行っていく予定です。なお、今回、いただいたご意見へ本市の考え方は別途ホームページ等で公表する予定です。</p>

	<p>3. 今回の意見募集で集まった意見についてはご回答があるものと思っておりますが、さらにその先に再質問の機会、公聴会などの開催予定はあるのでしょうか？</p>	
30	<p>金沢区福浦にある市大病院には過去入院したこともあり、また近くの市民総合医療センターにもお世話になってことがあります。</p> <p>今は新しい南区役所がある場所に付属大学もありましたが、どちらの病院も現在の施設が整備されてまだそれほど古くはなく、現段階では他の医療施設と比べても高度医療設備が整っている病院であるのは間違いなく、今の場所から小高い山の上へ移設してしまうと新たに交通環境を整えたり、現在のように最寄りの駅から徒歩で行ける利便性もなくなり相当な設備投資が必要になるのではないのでしょうか。</p> <p>それよりも市内に所在する他の老朽医療施設への設備投資や、市大病院を中心として市内既存医療施設との連携設備投資、また市内を流れる河川、公共施設・機関等への設備投資を行う方がよい気も致します。</p>	<p>現行施設の老朽化のみならず、狭あい化や同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から、今後の社会ニーズを踏まえた大学病院としての機能強化を図っていきたいと考えています。交通アクセスの課題への対応や、事業手法・事業費等の具体的な内容については、今後、検討していきます。</p>
31	<p>不要です。</p> <p>もっと街中に作って下さいませ。</p>	<p>根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。周囲の環境との調和を十分考慮し、交通アクセスの課題への対応など、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
32	<p>今よりも外来通院がとても不便になると思います。道路を広げて、駅直結のバス便を増やしてください。</p>	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にありますが、周辺の鉄道駅から約1 kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方</p>

		面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。
33	併せて、病院利用者のためのバス路線はしっかりと考えてほしい。	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にあります。周辺の鉄道駅から約 1 kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R 根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
34	<p>絶対反対です。</p> <p>現在、市民総合医療センターへ定期的に通院していますが、駅からの高低差を含めたアクセスの面で、現在より大きく悪化することが第一の理由です。</p> <p>平面図のみの検討でアクセス良好としていませんか？</p> <p>その上、ハード的に老朽化などしていません。十分新しいですし、もっとひどく老朽化した大学病院はたくさんあります。今で十分じゃないですか。どうしてお金をもっと有効活用しようとしないのですか？ どうして決して古くはない市大病院や医学部を近いうちに移転させなければならないのですか？</p> <p>とにかく絶対反対です。そこにかかる患者のことをもっとよく考えてください。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>	市民総合医療センターについては、本館は築 20 年程度ですが、本館に隣接し、主要な手術室を備える救急棟については築 30 年を超え、老朽化や狭あい化が顕著となっています。病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで 10 年以上を要する事業であり、それまでの間も老朽化等が進行します。こうした課題に加え、同規模 2 病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図っていくため、大学病院を 1 病院に集約する再整備について検討を進めていきたいと考えています。引き続き、交通アクセスの課題への対応など、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
35	駅から現実的な徒歩圏内でないのは不便	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にあります。周辺の鉄道駅から約 1 kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R 根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方</p>

		面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。
36	公立病院は地域に必要。アクセスが悪い地域なので、特に高齢者の行き来に市営バスやタクシー以外の新たな移動手段を考えて頂きたい。	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にあります。周辺の鉄道駅から約 1 kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p>
37	1とも関連しますが、病院へのアクセスコントロールにはデジタルを駆使して、病院運営に不要な交通が増えない工夫を希望します。基本はカーボンフリーの公共交通機関のみで、バス便は循環路線型で複数の鉄道駅からアクセスできる形が望ましいと思います。	<p>根岸住宅地区は高低差約 50mの高台にあります。周辺の鉄道駅から約 1 kmと比較的近いため、公共交通についてはバス交通を基本として、アクセス性の向上を図っていきます。</p> <p>具体的には、根岸旭台交差点を改良し、J R根岸駅からのバス路線が新設できないか、また、地区内にバス発着所等を新たに整備し、既存路線を再編することで複数方面から分散してアクセスできないかなどについて、バス事業者とともに検討を進めていきます。</p> <p>なお、ご要望の趣旨を参考に、今後、大学病院等の再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
38	<p>現状の2病院は、どちらも鉄道の駅が近く、比較的に患者にやさしい立地だと思います。</p> <p>移転統合の計画にある場所は、バス便となり、体の弱い患者に負担を要するため、病院の設置場所として不向きだと思います。</p> <p>コスト優先で市民・患者の利便性を無視して、病院移転統合には反対です。</p> <p>また、2つの病院ともに大きな病院のため、統合する際に、縮</p>	<p>市大病院は大学病院としての高度な医療の提供、教育機関として地域医療を支える人材を育成・輩出、地域医療機関への支援や、高度・先進的な臨床研究推進などの役割を担っており、長期的な視点からこうした機能を果たし続けるためには大学病院としての機能を1病院に集約することも含め、再整備が必要と考えています。地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、再整備に係る具体的に内容について検討を進め、再整備基本計画として、改めて、市民意見募集等を行っていく予定です。なお、当該地区について、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時</p>

<p>小されて、市民・患者にしわ寄せが来ないか、大変心配です。附属2病院の移転統合には、反対です。決定する前に、より多くの市民・患者の意見を聞いてください。</p> <p>また、今回の附属2病院の再整備案の冊子の内容は、かなり最後まで読まないと内容を理解出来ない文書となっていて、本当に市民・患者の意見を聞こうとしているのか疑問がわく内容です。</p> <p>今後この件の広報・意見聴取についても、改善を望みます。よろしく、お願いいたします。</p>	<p>点では最も有力な再整備候補地と考えています。</p>
---	-------------------------------

### (3) 環境

No.	ご意見	本市の考え方
1	住民の仕事場が増えるような施設 医学部は良いと思います。 QQ車などのサイレン音は配慮してほしいです。	ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
2	大反対です。人や車が増えるでしょうし、環境がまったく変わってしまいます。今の環境を維持できる計画を立案してください。	駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
3	病院は反対です。静かな環境が壊れると思います。	駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
4	近隣に住んでいます。 とにかくこの静けさは守って欲しいです。 病院再整備は致し方なく、確かにこの場を選ぶのが妥当かと思いますが、救急車のけたたましいサイレンを24時間聞くとなると話は別。 風致地区、いわゆる静かな環境が約束された場所だからこそ選んだ住まいだから。	駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
5	根岸森林公園、特にみはらし広場やモーガン広場からの富士山の眺望が損なわれないような土地利用計画にしていきたい。 具体的には、高さのある建物、特に市大医学部付属病院について危惧しています。 あの場所からの眺めは、何物にも代えがたいのです。	大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。

6	<p>朝晩、根岸森林公園を犬を連れ散歩してます。富士山がキレイに見えて、その景色を楽しみにしてます。</p> <p>新しい建物が建設されて、その景観が損なわれませんように…。</p> <p>朝日の富士山、夕日の富士山、常に富士山を眺めてます。</p> <p>よろしくお願いします！</p>	<p>良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
7	<p>家の近所に地区に繋がる道路があるため、交通量が増えすぎないか心配です。病院には十分なサイズの駐車場を設けて欲しい。</p>	<p>周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
8	<p>菅義偉内閣総理大臣は10月の首相就任時に、「菅政権では成長戦略の柱に『経済と環境の好循環』を掲げ、グリーン社会の実現に最大限注力していく」と述べ、「我が国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことをここに宣言する」と所信表明しました。</p> <p>既に日本はCOP21で、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比26%削減するという目標を掲げ採択されています。</p> <p>この7年で革新的な対応が見受けられない中、残り10年で削減目標に達するのは困難を窮めると言えますので、CO2やメタンなどの温暖化ガス排出量を、森林や排出量取引などで吸収量で差し引き、全体としてゼロにするという「カーボンニュートラル」にシフトしたことは、問題の20年先送り、逃げ対応の感は否めないながら、最低限この目標だけは批准する義務があるのではと強く感じます。</p> <p>私達が住む横浜市には首都圏全体の発展を牽引する担い手に</p>	<p>本基本計画では、「米軍施設返還跡地利用指針」の検討内容を踏まえ、本市の上位計画や関連計画との整合を図り、跡地利用の基本方針を定めており、関連計画として「横浜市SDGs未来都市計画」を本編P17に掲載しています。具体的には、第2章において、地区全体で環境負荷を軽減するエネルギーマネジメントシステムの導入などの先導的な取組や、地区内の交通手段として環境負荷の低減などについても検討していくこととしています。</p> <p>本基本計画は10～15年先を見据えたものであり、引き続き、国の政策と連携し、新たな技術や取組等を積極的に取り入れていくことで、社会・経済情勢の変化に対応していきます。</p> <p>今回、公表した跡地利用基本計画（案）は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、具体的な事項については、今後、詳細を検討していくこととなります。</p> <p>いただいたご意見も参考に、横浜の持続的な成長・発展を実現するために、様々な取組を連動させながら実行していきます。</p>

なり、将来を見据えて国際競争力を高める手本となっていた  
だきたいと願う所存で、そういう意味からも今回の事業にお  
いて地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和に向けた取り  
組みを積極的にかつ率先して企画導入すべきであり是非とも  
基本計画の俎上にあげていただきたいです。(基本計画案では  
上位計画として触れられているものの、概要版においてはま  
ったく記載のないことが残念でなりません)

私からの提案ですが、

- ・森林吸収量を減らす行為は極力避ける、・温室効果ガスの排  
出量を減らす

という観点から以下を要望します。

- ・樹木の維持管理強化

このところの異常気象によりかなりの樹木が倒木していま  
す。風雨の威力は今後も衰えるとは考えにくいいため、既存の樹  
木に対して風による倒木防止措置や盛土による根の保全、風  
に強い樹木の植樹等を施すべきと考えます。今回の開発や原  
状回復のために樹木を伐採するのは言語道断です。

- ・太陽光発電や電気自動車の普及促進

新築住宅には太陽光発電設備を義務づけ、余った電力を行政  
が買い取り既存の設備未導入住宅等に供給する。当然、横浜市  
が管理する市大病院等には太陽光発電設備を積極導入する。  
住宅地ゾーンの一部を太陽光発電施設化することも一考かと  
思料します。また、電気自動車の購入や乗り換えに助成金を出  
す、公営駐車場には無料の充電ポートを設置し駐車場利用料  
金の割安感を出す等の施策はいかがでしょうか。

- ・異常気象の逆利用検討

	強風には風力発電設備を導入する、大雨には降雨を利用した道路等のヒートアイランド化抑止を図る等の検討をお願いします。	
9	通院車両、緊急車両が十分収容できる駐車場等の建設を強く希望します。敷地周辺は子どもや高齢者も多い住宅街であり、スクールゾーンでもあり、とても狭い生活道路になっています。路駐や患者の乗り降りのための一時停止等でスクールゾーンが危険に晒されることだけは絶対に避けたい。	周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
10	やるからには景観や景色など、配慮してすすめてほしい	大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。
11	病院の建設自体には反対はありませんが、こちらも、公園の自然を減らす事なく、豊かな自然を残したままにしてもらいたいです。	公園については、緑に親しむなど誰もが快適に過ごせる環境や、子供の遊び場の確保を目指すとともに、地区内外の市街地の防災性向上にも寄与できるよう配慮していきます。また、根岸森林公園に隣接する部分については、根岸森林公園を拡張し一体利用することで、公園の更なる魅力向上を図っていきます。
12	この地に大病院は必要でしょうか。 近隣に住む者としては、No です。 人、交通量が増え、救急車も頻繁に行き来するでしょう。 静かなことは希少であり貴重であるのに、賛成出来ません。 個人が大病院にかかることはなく、メリットはありません。 公園の景観が変わる方が大きな損失です。 1 と同じく一部の恵まれた人達が恩恵を受ける計画は必要ではありません。	駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
13	豊かな地域の雰囲気をも壊さないようにしてほしいです。	大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。
14	大反対です。まず、今までの閑静な雰囲気が全て奪われてしま	本再整備は長期的な視点から市大病院が市民の健康と命を支える最後の砦としてあ

	<p>います。病院は結局、大概、●のためですね？横浜市は今までどれだけ●に費用を費やしていると思ってるんですか？これ以上、根岸の素敵な場所を汚さないでください。病院が出来たら、救急車のサイレン、車の往来、人の往来が激しくなります。うるさくなるのは困ります。やめてください。</p>	<p>り続けるために必要なことと捉えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
15	<p>環境に悪影響ではないか今一度改めて、地球目線で考えていただきたいと思います。よろしくお願い致します。</p>	<p>本再整備は長期的な視点から市大病院が市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、ご要望の趣旨を参考に再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
16	<p>これも公園内を分解して造るのは反対</p>	<p>駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
17	<p>住宅街に建てるのは好ましくないとします</p>	<p>駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
18	<p>一つ出きましたら、富士山を眺められる（できたら 360 度）場所ができれば素敵だと思います。現在、大変な中での建設みな様お体に気をつけて頑張ってください。</p>	<p>良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
19	<p>病院の再整備としての利用について理解は出来ます。一方、当該計画エリアは、第1種低層住居専用地域です。1000床規模の病院を建設する場合、どのような計画になるのでしょうか。病院建設の為に、用途地域を変更し、地域の住環境を悪化するような計画の場合には反対します。</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、住環境が悪化しないよう、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>

20	<p>根岸住宅地区跡地への誘致は反対です。当初の予定としては住宅地としての利用が目的だったと思うのですが、地図からしてもこちらが主になっているように感じました。資料には文教地区としてキャンパス写真をイメージとして掲載しているが、医療センターとなるとこのイメージとは異なると思います。また住宅地の真ん中に計画していることから、本来の目的である静かな住宅地を確保することが難しくなると思います。</p> <p>横浜市の重要な医療機関として再整備には賛成ですが、こちらの土地ではない、他の土地にしたほうがよいと感じました。</p>	<p>大学病院は医学部施設と一体不可分であるため、根岸住宅地区跡地利用基本計画案に記載の文教施設に合致するものと考えています。</p> <p>当該地区について、駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。一方で、周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
21	<p>病院に関しては多くの人が集まることになり、また周辺に買い物や食事の施設もないので、その辺を十分考慮頂き、周辺住民の生活に影響が出ないようにして頂きたい。</p>	<p>周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
22	<p>病院の拡充には賛成だが、あくまで開発エリアとのバランスが取れた形で建設を進めるべき。</p>	<p>周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
23	<p>山元町4丁目からのアクセスすると円形公園からきれいな富士山を望むことが出来る。高い建物を作るなどして景観を妨げないで欲しい。</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
24	<p>病院を計画する場所は公園から富士山を臨むことが出来る方向となる。</p> <p>公園の魅力の一つとなっている景観なので、建てる場合は現在ある木の高さを超えないなどの公園からの景観を考えて欲しい。</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
25	<p>また、近隣住民としては、夜間に救急車が頻繁に通過することによる騒音、ドクターヘリが着陸する場合の騒音と危険性を危惧します。この辺りは風致地区として様々な制約を受けて</p>	<p>周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>

	<p>いるので、逆に静かな環境が守られる必要も考慮されるべきではないかと考えます。</p>	
26	<p>再整備については特に異論はありません。  ただ、医学部・附属2病院が1カ所へ集約されることで、建設される建物が高層化する懸念があります。  ご存じの通り当該地区周辺は低層住宅地区であり、現近隣居住者が不快に感じる建物にならないように注意していただきたくお願いいたします。</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
27	<p>1.  構想書を拝見すると、冒頭から全体の9割くらいまでは「良好な住環境を維持する」という内容が書かれていますが、最後の数ページで急に、「用途地域を変更して病院を建てる」という話が登場しています。  当然、高さ制限も現在の10mではなく、15m～20mくらいへの変更を想定しているかと思います。  そこで質問ですが、返還される土地のおよそ1/4の土地の用途地域と高度地区が変わり、(例え分散配置するとしても)かなりのボリュームある建物が建つことと、良好な住環境の維持継続について、整合性は取れるのでしょうか？  正直申し上げますと構想書の展開が唐突過ぎて、計画の合理性が説明しきれないと思います。  病院の設置を前提とするならば、構想書の前半部分で文教施設だけではなく医療施設の設置に言及(病院は文教施設ではない)した上で、「これくらいの建物ボリュームだから住環境に影響はない」という市のビジョンを提示しなければ、大多数の市民は賛成も反対もできないと思います。</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、住環境が悪化しないよう、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>

28	<p>3.          景観につきまして、旧競馬場スタンド隣接の円形芝生公園からの富士山や丹沢の山並みが見える風景を壊さないで欲しいです。</p>	<p>良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
29	<p>景観：          ・根岸森林公園のふれあい公園からは富士山が見えるのですが、このあたりに住宅が建設される想定になるかと思われますので、公園からの景観も維持</p>	<p>住宅地の整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
30	<p>根岸森林公園の近くに居住している者として本再整備構想に反対します。          理由は、本再整備構想は現在の良好な住環境に悪影響を及ぼすものとするからです。          根岸住宅地区跡地利用基本計画（以下、「基本計画」といいます。）に対しても意見を提出しましたが、小生が居住している地域は第4種風致地区に指定されている地域です。この地域の閑静で景観がよい佇まいや環境が気に入り、決して価格は安くありませんでしたが、何とか現在の住居を手に入れ、静かな環境の中で快適な暮らしをしています。基本計画に従って住宅ゾーンに新たに住宅ができるだけでも、既に住んでいる住民にとっては大きなデメリットとなりますが、その上に、本再整備構想が進められて病院が建設されてしまうと、基本計画で脅かされる良好な住環境が、さらに脅かされる不安があります。          つまり、基本計画により住宅地ゾーンにおいて人口が爆発的に増加し、この地域全体の人口が急増します。人口が増加するとどうしても環境が雑然としてしまい、現在のこの地域の大変良好な住環境が悪化することになります。さらに本再整備</p>	<p>根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。周囲の環境との調和を十分考慮し、交通アクセスの課題への対応など、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>

構想により病院が建設されてしまうと、その住環境は一層、悪化してしまいます。具体的には、病院が建設されてしまうと、市内外から多くの患者、見舞客あるいは関係者など住民以外の多種多様な人々の来院がありますので治安の悪化も懸念されます。さらに夜間も出入りがある救急車のサイレン音で静寂な生活や安眠が妨げられます。本再整備構想は、基本計画による住環境の悪化に輪をかけて住居の資産価値の低下に繋がります。さらに悪化する住居の資産価値の低下は横浜市が補償してくれるのでしょうか。

さらに本再整備構想により、基本計画の実現により悪化する交通事情がますます悪化します。

この地域は丘の上に立地していますので、通勤、通学あるいは買い物等にはバスや自動車が必要です。

まずバスですが、現在、根岸森林公園付近を走る市営バスには103系統や21系統があります。ともに朝夕はもちろんのこと日中でもかなり混雑しています。小生は、根岸森林公園付近のバス停から横浜駅まで103系統を利用して通勤や買い物等に出かけます。乗車時間が長いため、バスの車内で新聞や書籍を読みたいので必ず着席しています。幸い現在は、103系統の場合、根岸台バス停が始発のバスが多いので、根岸森林公園付近のバス停から乗車しても座席に座ることができますが、帰宅時には、横浜駅から着席するために1本見送って待つ乗車することが日常茶飯事です。

仮に本再整備構想が実現してしまうと、現在とは比較にならないほど、バスが相当混雑することが考えられます。また103系統が延伸され、住宅地ゾーンに設置されると思われるバス停あるいは文教ゾーンに建設される病院付近に設置される

と思われるバス停が始発となり、根岸森林公園付近のバス停から乗車した場合には既に座席に座れない状態になることが想定されます。同じく21系統も、根岸森林公園付近のバス停から乗車した場合には既に座席に座れない状態になることが想定されます。帰りも1本見送って待っても着席して乗車することができず、2本あるいは3本待ってやっと着席して乗車できる状況になることを恐れています。

今後、10年～20年経過すると、小生も高齢者と呼ばれる世代に属します。但し高齢者となっても働かなければならない状況も考えられますし、もちろん買い物等には出かけます。高齢者となった時に混雑しているバスで座れないのは肉体的に厳しいです。バスには優先席がありますが、その頃には高齢化社会がますます進んでおり、乗車した時点では既に優先席が満席になっていることも考えられます。現在と同様、通勤や買い物等には、103系統では終点の横浜駅、21系統では同じく終点の桜木町駅まで乗車することになると思われ、ともに時間がかかります。高齢者にとっては、どちらの系統とも長時間を立って乗車することは苦痛です。帰りも同じ状況です。したがって、現在居住している住民に犠牲を強いての本再整備構想には断固反対です。

**【続き有り】**

一方、小生や周辺住民が自家用車を利用する場合には、横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）を利用していますが、仮に本再整備構想が実現し病院が建設されてしまうと、来院者の自家用車や業務用自動車さらにはタクシー等で横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）を利用する自動車台数が増加します。加えて、住宅地ゾーンにおいて人口が爆発的に増加することで、住宅地ゾ

ーンの居住者も通勤や買い物に自動車を利用することになります。その結果、横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）を通過する自動車台数が大幅に増加してしまい、当該道路は終日、横浜駅方面、根岸駅方面とも交通渋滞になる虞れがあります。交通渋滞は自動車利用者だけでなく、バスも交通渋滞で遅延しますのでバスでの通勤・通学者にも悪影響を及ぼします。横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）にバス専用レーンを設けることができれば、バスは交通渋滞から逃れることができますが、道路幅から考えて、横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）にバス専用レーンを設けることは不可能です。いずれにしても、現在居住している住民に犠牲を強いての本再整備構想となりますので絶対反対です。

以上の通り、本再整備構想に反対します。しかしながら、横浜市がどうしてもこのまま押し切って本再整備構想の通り開発するのであれば、せめて交通事情の悪化対策として以下の手段を取ることを強く要望します。

まずバスですが、住宅地ゾーンの住民に対しては103系統や21系統の利用を前提とせず、病院や住宅地ゾーンとJR根岸駅との間で新たなバス路線を設けて、病院来院者や住宅地ゾーンの住民にはJR根岸駅を利用させるべきです。

但し、JR根岸駅から不動坂を上ったところにある根岸旭台交差点は、現在のままですと大型バスの左折が難しいと思われます。したがって、根岸旭台交差点を改良して、JR根岸駅から来たバスが左折できるようにし、上記の通り、バスの新路線により、病院来院者や住宅地ゾーン住民をJR根岸駅に向かわせる流れを作ることを強く要望します。

また万一、103系統を根岸台バス停から病院付近や住宅地

	<p>ゾーンまで延伸させるのであれば、まずは大規模な増便を求めます。また103系統の全てのバスを、病院付近や住宅地ゾーン始発あるいは終点とするのではなく、例えば、便の半数くらいは現在と同様に、根岸台始発あるいは終点とすべきと考えます。</p> <p>また横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）の交通渋滞を防止するために、国道16号線や吉野町駅方面への道路を新設し、自動車の流れをそちらへ誘導することで、横浜駅根岸線（横浜駅根岸道路）の交通渋滞を回避すべきです。</p> <p>繰り返しになりますが、小生は、現在の良好な住環境に悪影響を及ぼす本再整備構想に反対します。本再整備構想が進められると、とても閑静で良好な住環境が脅かされます。また交通事情の悪化等を引き起こすなど、現在居住している住民にとって本再整備構想はデメリットしかありません。現在居住している住民に犠牲を強いての本再整備構想には断固反対します。</p>	
31	<p>概ね、賛成です</p> <p>学生や医療関係者などが来ることにより街に活気が出ると思う。。</p> <p>しかし、現在米軍住宅は人も居ないのもあるがかなり静かなので、サイレンなどの部分だけは留意してもらいたい。</p>	<p>周囲の環境との調和は今後検討を進めていくうえで重要な視点と考えており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
32	<p>当該再整備構想の必要性については理解いたします。計画案P4の写真にある文教地区のイメージを期待しています。(高層でないことを望みます)</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>
33	<p>旧2等馬見所のふれあい広場はMMから伊豆まで180°のパノラマが見えるところです。みなさんが楽しみに朝、昼、夕に景</p>	<p>大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。</p>

	<p>色をみているところです。特に、富士山の景色がすばらしい。再整備は結構ですが、ふれあい広場から富士山までの導線は巾広くとっていただき、ふれあい広場から雄大な富士山がみえるように設計していただきたい。ビューポイントの確保をお願いします。もちろん低層が望ましい。</p>	
34	<p>これだけ大きな設備、施設を設置すると居住地と近接しエリア全体の景観や人の往来が予想出来ない。 今回示されているプランだけでは漠然としており安易に病院の集約構想を容認出来ない。</p>	<p>本再整備構想案は今後、再整備の具体的な検討を進めていくうえで、その柱となる「再整備のコンセプト」や「再整備の方向性(運営体制、病床規模、再整備の対象施設、再整備候補地等)」の基本的な考え方をまとめたのです。今後、周囲の環境との調和を十分考慮し、具体的な検討を進め、再整備基本計画として取りまとめ、改めて、市民意見募集等を行っていく予定です。</p>

(4) 再整備への期待

No.	ご意見	本市の考え方
1	横浜市立大学附属病院と医学部移転には大賛成。神奈川の大切な優秀な人材を都内に奪われてかけているため、早急に移転すべき。病床数もさることながらこれからのデジタル化に対応すべくスピード感をもって実行すべき。	本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について慎重かつ幅広い検討をスピード感をもって検討していきます。
2	大賛成。老朽化や病床数、神奈川を代表する病院だからこそスピード感をもって横浜市立大学医学部と病院をサポートすべき。跡地開発の中でも一番最初に着手すべき。それによって神奈川の人々の命にも繋がる。	本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
3	市民の健康と命を支える拠点としては、非常に大切な施設ですので、大いに賛同します。 富士山の見える素晴らしい景観、眺望を妨げる高層建築にはして欲しく無いです。	大学病院等の再整備にあたっては、良好な市街地景観の創出に向け、周辺住宅地との調和を考慮しながら、建物の規模、高さ等を検討していきます。
4	金沢区に住んでいるが、地元でも市大はいまいちパツとしない印象がある（関東学院のほうが存在感がある）。せっかく作るのだから、建物だけ新しくするのではなく、しっかりうソフト面も強化してもらいたい。日本一の病院、世界的な医療拠点として地区全体を盛りあげてもらいたい。でなければ税金を使ってやる意味はない。	今回の再整備はハード・ソフト両面から大学病院としての機能強化を図り、長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために行うものです。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
5	少子高齢化が進み医療においても医師ひとりに対する患者の割合が増加する中、それを補うためには先進技術の開発と優秀な人材の育成が不可欠なのは自明の理であります。 医学部を持つ県内唯一の公立大学において研究面や教育面で課題を抱えているとあらば、IR等の他の事業よりも優先順位を上げて取り組むべき事業であると思います。	大学病院として、高度先進的な医療の提供、医療人材の育成等は重要な役割です。今回の再整備を通じて、「診療・教育・研究」を一体的に機能強化を図りたいと考えています。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

6	<p>再整備構想(案)を拝見し築30年を超える施設の老朽化を心配しているようですが一応新耐震基準以降といえるので建物倒壊リスクは低いと思えます。</p> <p>むしろ横浜市立大学(以降、市大と略す)附属病院には液状化、市大総合医療センターには液状化と浸水の自然災害リスクが懸念され、病院としての機能が果たせない懸念があるのであれば災害リスクの低い根岸住宅地区の跡地に再整備することは賛成である。</p> <p>加えて言うならば今後30年で震度6弱以上の激しい揺れが発生する確率は82%と予測されていることを勘案し、文教ゾーンを住宅地等ゾーンや森林公園ゾーンとは別立てとし、最優先で病院の再整備が実現できるよう関係省庁も含め積極的に働きかけをしていただきたい。</p>	<p>現行施設の狭あい化や老朽化等の課題に加え、昨今の災害リスクの高まりを踏まえ、今後、災害拠点病院としての機能を発揮するためには災害リスクの低い立地が望まれます。こうした視点に基づき、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について慎重かつ幅広い検討をスピード感をもって検討していきます。</p>
7	<p>近くに病院あると便利なのでいいと思います</p>	<p>地域医療機関との役割分担等を踏まえ、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
8	<p>早くやるべきだ！</p>	<p>根岸住宅地区跡地の返還等の動向も踏まえながら、今後、再整備に係る具体的な内容について慎重かつ幅広い検討をスピード感をもって検討していきます。</p>
9	<p>大都市横浜に見合う、最新設備を完備した国公立大学付属病院を市の中心部に是非とも建設して頂きたい。根岸住宅地は、またとない候補地だと思います。</p>	<p>長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
10	<p>センター病院に家族が入院したことがあります。病院が狭く、人であふれかえってしまいました。その時は平気でしたが、コロナの状況を考えると怖くてしょうがないです。あと、センター病院のまわりもガラが良い街とは言えないと思います。きれいな場所で広くて快適な病院ができるのは良いと思います。</p>	<p>長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
11	<p>コロナの状況もあつての新病院計画だと思いますが、賛計画には成です。大事なのは今後このようなある種の「災害」はずっと襲って</p>	<p>再整備を行うことで、ハード・ソフト両面において、大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦として、緊急事態にも迅速・的確</p>

	くるはず。コロナが終わったらそれで終わりではない。どんな災害も受け入れられるように能力を備える必要がある。古い病院では受け止められない。予算もそうだが、スペースとか部屋割りなんかもどんなことが起こっても対応できるようにしないとイケない。国民の命を守るのは、やはり行政だと思う。	に対応しうる病院にしていく必要があります。将来の社会情勢や災害リスク等をしっかり踏まえ、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
12	再整備に賛成です。 病室やトイレは狭く、一昔前のものの様な感じがします。 患者にとって良い環境だとは思えません。 また、同じ場所に無理無理建てるのではなく、どうせ建てるなら広々として、入院しても気持ちが休まる病院にして下さい。	再整備のコンセプトに「病院利用者に安心感を与える診療環境の整備」を掲げており、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
13	医療施設の建設には賛成します。 大きな病院特有のドア to ドア(入ってから出るまで)の時間が短縮される、新しい病院を期待しています。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
14	お世話になった病院なので、整備されるのは歓迎。特に金沢まで行かなくて良くなる。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
15	市大病院の再整備については横浜市に居住するすべての人にとってとても有意義となる事業であると思えます。 今回、原状回復作業着手に向けて跡地の共同使用が日米合意されたことに倣い、返還においても、 ・すべてではなく段階的に行うとか、 ・病院建設に向けて共同使用を合意するとか、 早期実施に向けた調整手段をご検討いただきたく。	土地所有分布図にお示ししているとおり、国有地と民有地がモザイク状に分布していることや、将来のまちづくりに不可欠な道路、公園、上下水道等のインフラ整備が国による原状回復作業では実施されないため、市大整備を行う前に、土地区画整理事業等によるインフラ整備が必要になるため、段階的な整備は困難ですが、少しでも早く事業を進められるよう検討を進めていきます。なお、大学病院等の再整備については、根岸地区跡地の返還の動向や土地区画整理事業の進捗等も踏まえながら、慎重かつ幅広い検討をスピード感をもって進めていきます。
16	今後、医療は大切です。自身の時代、子供の時代、孫の時代と、受け継がれていきます。100年などすぐに過ぎてしまうでしょう。自	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整

	分自身の事を考えれば、今、69 才ですから、施設の利用は、病院くらいになるでしょうか。子供達、孫の時代の後継者には、最高に良い物を作って下さい。	備に係る具体的な内容について検討していきます。
17	医学部学園祭は子供を連れてよく行きます。近くなるのは楽しみ。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
18	病院の移転には賛成。10 年、20 年先の医療の進歩を見据えた計画をお願いしたい。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
19	根岸住宅地区のことは今回初めて知りました。長らく制限を受けてきた地権者の方々のことを思うと胸が痛みます。「土地利用計画」に自分の通う大学名が出ていたのでびっくりしました。根岸はあまり馴染みのない土地ですが、自分の通うキャンパスよりも横浜駅やみなとみらい駅に近い場所に移転するのは、全国から学生や教員を集める際に効果的だと思います。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
20	良い計画だと思います。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
21	中心部の医療充実を図るため、賛成。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
22	特に異議ありません。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
23	医学部と病院を計画していくのは大変なことと思います。様々なことが連携できる環境を整えられていくことを望みます。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

24	<p>1 の案と含め横浜市から新しい「治療」「未病」の在り方を提案できると良いと思います。</p> <p>先端医科学研究センター；●●さんと交流があるのですが、以前、こんなことができるといいねとお話をしました。</p> <p>アートやデジタル技術、エンターテインメントが医療とかかわることで新しいイノベーションを起こす。横浜にしかできないプロジェクトにしていきたいです。</p>	<p>長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
25	<p>病院等の再整備構想についても反対はございません。</p> <p>個人的には、少子高齢化の現在、あらたな文教地区を整備することよりは、どのような境遇にあっても、収入がどんなに違って、誰もが等しく医療や教育を受けることのできるあたたかい市政であってほしいと思います。</p>	<p>長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
26	<p>賛同します。</p>	<p>長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
27	<p>大学、病院は是非誘致したい。</p>	<p>長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
28	<p>スケジュールを縮めてほしい</p>	<p>土地所有分布図にお示ししているとおり、国有地と民有地がモザイク状に分布していることや、将来のまちづくりに不可欠な道路、公園、上下水道等のインフラ整備が国による原状回復作業では実施されないため、市大整備を行う前に、土地区画整理事業等によるインフラ整備が必要になるため、段階的な整備は困難ですが、少しでも早く事業を進められるよう検討を進めていきます。</p> <p>なお、大学病院等の再整備については、根岸地区跡地の返還の動向や土地区画整理事業の進捗等も踏まえながら、慎重かつ幅広い検討をスピード感をもって進めていきます。</p>

29	米軍住宅の広大な跡地に公立の医学部附属病院を建てるのは、良い案だと思います。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
30	賛成します。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
31	市大医学部が元々あった場所に近く、ぴったりだと思います。	長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。

(5) 現行2病院の跡利用

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>公立病院よりは民間病院の方がサービスが良い。福浦と浦舟には、民間病院として運営してほしい。公立は施設が充実してない。滝頭の脳血管センターも、ただの一般病院になってるし、サービスが良くない。</p>	<p>地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、新病院等の再整備や、現行2病院の跡利用等について、具体的に検討を進めていきます。</p>
2	<p>市民総合医療センターは、残して欲しい。</p>	<p>地域医療機関との役割分担を踏まえた、持続可能な運営体制が必要と考えており、大学病院としての機能は1病院に集約する方向で検討を進めていきたいと考えています。また、現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>
3	<p>センター病院にかかっていたのですが、決してサービスは良くないと感じています。別の子の出産の際に別の病院も利用しましたが、そちらの方が看護師さんも親切でサービスが良かったです。市大病院と聞いていたので、期待していたのですが、がっかりした記憶があります。行政がやらなくてはならない治療もあると思うので、新しく作るのはいまはないと思いますが、今の病院を残すのなら、民間のキレイで親切的な病院に建替えてもらいたいです。</p>	<p>今回の再整備のコンセプトとして、ハード・ソフト両面から「病院利用者に安心感を与える診療環境の整備」を掲げています。地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、新病院等の再整備や、現行2病院の跡利用等について、具体的に検討を進めていきます。</p>
4	<p>移さないで欲しいもともと金沢区には搬送で主に南共済と市大医学部を使うが根岸となると遠くなりしかもシーサイドラインに市大医学部という駅もあるそうだと駅が機能しないしかも南区にある浦舟病院も搬送に使うとなるとかなり南部の救急医療体制が不安定になってしまう以上の理由から統合しないで欲しい。</p>	<p>地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、新病院等の再整備や、現行2病院の跡利用等について、具体的に検討を進めていきます。</p>

5	<p>現市大病院の跡地の利用はどうか示されていません。金沢区民にとって通院に近い病院がなくなると困ります。移転しても</p> <p>①市大病院の分院又は診療所などにして根岸まで通院しなくとも良いシステムを構築していただきたい。</p> <p>②現病院の建物を、集会所、福祉施設など区民のために活用して欲しい。</p>	<p>現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>
6	<p>現市大病院の跡地の利用はどうか示されていません。金沢区民にとって通院に近い病院がなくなると困ります。移転しても</p> <p>①市大病院の分院又は診療所などにして根岸まで通院しなくとも良いシステムを構築していただきたい。</p> <p>②現病院の建物を、集会所、福祉施設など区民のために活用して欲しい。</p>	<p>現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>
7	<p>・構想案では現病院跡地をどうか示されていません。市の考えを示してほしい。</p> <p>・現市大病院の跡地に医療と福祉のための施設をつくってほしい。</p> <p>・金沢区民にとって移転により病院が遠くなり、通院が不便になります。</p> <p>    全ての病院を無くすのではなく、診療が受けられる分室など設置してほしい。</p> <p>・根岸まで通院しなくても福浦に通院できる医療システムをつくること。</p>	<p>現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>
8	<p>市大福浦病院が移転すると、南部方面の中核病院が減ります。また、高齢者介護施設も乏しいと感じています。</p> <p>① 跡地には新たな総合病院を誘致するか、古くなった南共済病院又は南部病院の移転・再整備が必要ではないでしょうか</p> <p>② また、高齢者介護施設の誘致も必要と考えます。</p>	<p>済生会横浜市南部病院は再整備に向けて検討が進められています。また、現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>

9	<p>医療の研究・教育機関として土地利用することには賛成しますが、診療面を考えると、現在の2病院の施設は、そのまま病院として存続してほしい。</p> <p>病院数が減少する中で、多方面の地域に分散した型で病院を残すことは、その地域の人々にとって、とても大切なことです。</p>	<p>現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>
---	--	--

(6) 再整備の必要性

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>再整備構想を拝見し一部の病室面積が医療法上既存不適格と指摘されていること。</p> <p>また、病院として狭あい化や老朽化が大きな課題になっているとのこと。</p> <p>確かに30年前を振り返ればプライバシーへの配慮も希薄であったであろうし、現在においてはベッド周辺でできる検査や治療が増えていることから将来を見据えて余裕のある病室の間取りや設備を備えておく必要があると感じます。</p> <p>また、神奈川県地域医療構想をもとに独自に推計された必要病床数の算定において将来的に回復期や慢性期機能の病床に大幅な不足が見込まれているとのことであれば、既に平均在院日数の短縮化が気になるところでありますので本計画に賛成します。</p>	<p>地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
2	<p>センター病院はまだ新しい建物なのでもったいない</p>	<p>市民総合医療センターについては、本館は築20年程度ですが、救急棟については築30年を超え、老朽化や狭あい化が顕著となっています。病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで10年以上を要する事業であり、それまでの間も老朽化等が進行します。こうした課題に加え、同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図っていくため、大学病院を1病院に集約する再整備について検討を進めていきたいと考えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
3	<p>現在の2病院の将来利用をどうするかを時間をかけて検証し、感染症専門病院、がん専門病院等の専門性のある高度医療に特化して再整備して</p>	<p>市大病院は大学病院としての高度な医療の提供、教育機関として地域医療を支える人材を育成・輩出、地域医療機関への支援や、高度・先進的な臨床研究推進などの役割を担っており、長期的な視点からこうした機能を果たし続けるためには大学病院としての機能を1病院に集約することも含</p>

	<p>はどうか？</p> <p>建物の老朽化はあるものの、多くは設備的なもので構造的には新耐震設計法で建てられており、リニューアル・リノベーションも十分可能であると考えています。</p> <p>スクラップビルトありきではなく、コストを抑える検討もお願いします。</p>	<p>め、再整備が必要と考えています。また、現在の2病院の跡利用については、これまで地域で果たしてきた役割や医療需要の変化（回復期・慢性期需要、在宅医療支援等）も考慮する必要があります。こうしたことを踏まえ、近隣エリアで将来求められる医療・福祉ニーズを踏まえながら、必要な機能を確保することを基本とし、今後、検討を進めていきます。</p>
4	<p>大学病院の再整備にお金をかけてわざわざやることではないと思います。看護型多機能福祉施設で働いているものですが、本当に大変な状況です。大きな病院はすぐに患者を追い出しますが、それを受け入れる側はとて大変です。人手も足りず、重症な患者を押し付けられるのは正直困ります。患者を出すなら、看護するスタッフも一緒に付けてくれるくらいでないと、困ります。これからもっとそういう患者さんは増えるのではないのでしょうか。大学病院を作るくらいなら、そちらにおカネを回してください。</p>	<p>市大病院は大学病院としての高度な医療の提供、教育機関として地域医療を支える人材を育成・輩出、地域医療機関への支援や、高度・先進的な臨床研究推進などの役割を担っており、こうした機能を長期的な視点から果たし続けるためには再整備が必要と考えています。地域医療機関との役割分担を踏まえ、公立大学病院として求められる役割を精査し、今後、新病院等の再整備等について、具体的に検討を進めていきます。</p>
5	<p>人間の寿命は80年以上ですし、築30年程度であれば経験に基づいた創造と工夫で支障を乗り越えていただけるのではないかと思います。その発想は大切にしていきたいです。</p> <p>このため現在の附属病院の老朽化は理由にならないと考えますし、人口減少トレンドの中で、負債はできるだけ減らしていきたいです。</p> <p>情報技術の進歩で専門的な情報が身近になり、一般の教育レベルも上がり、患者自身の健康意識も</p>	<p>現行施設の老朽化のみならず、狭あい化や同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から、今後の社会ニーズを踏まえた大学病院としての機能強化を図ってきたいと考えています。事業手法・事業費については、工期短縮、経費節減、多様な財源確保を目指し、多角的に研究を進めているなどし、再整備構想の具体化に向けた検討を取りまとめ、再整備基本計画として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>

	高まってきていることから、医療費を削減しつつ市民の健康を維持改善するためのご提案をご検討願います。	
6	病院の老朽化での再建設に賛成です。	現行施設の狭あい化や老朽化など、現在抱える課題を抜本的に解決し、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるよう、ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
7	<p>多大な費用を掛けて病院を再建設する必要性はあるのであろうか？重要構造物として建設された病院が耐用年数30年程度で劣化するとは思えず、適切な維持補修をすることより現行の病院を残す案の方が魅力的である。耐震基準が満たないのであれば補強する案も有効ある。MM地区に見る、新しいビル、施設を乱立させ、古いモノを活用しない横浜市の計画には強い疑問を持っている。</p> <p>時代が変化し、リモートで勤務することが推進される今後、都市一極集中の時代は近い将来変化が予想され、現在保有する施設規模以上の必要性は感じられない。</p> <p>また医療、福祉機能を中心部一か所に集中させる案ではなく、横浜市全域に分散させる計画の方が横浜市民のニーズに合うと考える。</p>	現行施設の老朽化のみならず、狭あい化や同規模2病院体制が抱える経営上の課題に対する対応等も含め、長期的な視点から、今後の社会ニーズを踏まえ、大学病院としての機能強化を図ってきたいと考えています。市中心部を除いた郊外部（6方面）に整備した地域中核病院やその他の地域医療機関との役割分担等を踏まえ、今後、ハード・ソフト両面から、再整備に係る具体的な内容について検討していきます

(7) その他

No.	ご意見	本市の考え方
1	<p>この跡地利用計画案ではどれぐらいの費用を必要として、収益がどれぐらいになるのかということが書かれていません。大規模な市税支出を伴う計画を公表して、市民に意見を求める場合には、概算であっても収支の予測を公表することが必要です。</p> <p>貴重な市税をどのように使うのかを明らかにしてから、再度市民に広く意見を求めるべきだと考えます。</p>	<p>医学部・附属2病院等の再整備に係る事業手法・事業費については、今後、工期短縮、経費節減、多様な財源確保を目指し、多角的に研究を進めるなどし、再整備構想の具体化に向けた検討を取りまとめ、「再整備基本計画」としてし、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p> <p>また、今後、土地区画整理事業の具体的な検討に合わせて事業費について検討していきます。</p>
2	<p>病院は必要ない。</p>	<p>本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
3	<p>ページ 意見等 全体 本案に賛成します。</p> <p>はじめに 意見 「医師の働き方改革」とありますが、看護師、もう少し広く医療従事者ではないでしょうか。</p> <p>2 意見 建蔽率のぺいが漢字が難しいのでふりがなを追加</p> <p>5 意見 旧横浜南部医療圏がもう少し説明してほしい</p> <p>6 質問 かん和ケアは慢性期に含まれるのでしょうか</p> <p>6 意見 整備経過の図に西暦を追加してはいかがか</p> <p>7 意見 [医療面の課題]～既存不適格となる～ もう少し説明してほしい</p> <p>8 不明 [老朽化について]～過言ではないか</p>	<p>本再整備構想の策定や再整備に係る具体的な内容の検討にあたり、参考にさせていただきます。</p>

	<p>かはらない気もします</p> <p>11 意見 根岸住宅地区跡地に賛成します</p> <p>19 専門用語が多くてもう少し説明してほしい</p> <p>GCU?</p> <p>MF-ICU?</p> <p>IBD センター?</p> <p>G-ICU?</p> <p>G-HCU?</p> <p>20 75 才以上を 75～85 才、85 才以上に分けてはいいか がか</p> <p>23 市を 3 つに分けていますが、説明をしてほしい</p> <p>24 グリーン色は市立の病院と思われ ます 説明を追加してはどうか</p> <p>30 DPC の用語が難しい</p>	
4	意義なし	<p>本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
5	なるべく費用をかけないで欲しい	<p>事業手法・事業費については、工期短縮、経費節減、多様な財源確保を目指し、多角的に研究を進めるなどし、再整備の具体化に向けた検討をとりまとめ、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>
6	この場所に病院が必要なのか？意味がわかりません。	<p>本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>

7	<p>再整備の必要性については、理解できました。</p> <p>学生、患者が根岸駅方面からのバス利用によつての交通量の増加について沿道の住民にはきちんとこのような計画が進んでいることを個別に伝える必要があるのではないのでしょうか？</p> <p>※概要版を根岸駅のPRボックスで入手しました。</p> <p>ほとんどの人がエスカレーターを利用すると思いますが、設置場所が磯子よりの階段の上であり、大変わかりにくかったです。この冊子が必要な人にきちんと届くようにして欲しいと思います。</p>	<p>本再整備構想案は今後、再整備の具体的な検討を進めていくうえで、その柱となる「再整備のコンセプト」や「再整備の方向性(運営体制、病床規模、再整備の対象施設、再整備候補地等)」の基本的な考え方をまとめたものです。周囲の環境との調和を十分考慮し、今後、具体的な検討を進め、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です</p>
8	意見はありません。	今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
9	大きな病院は、紹介状がないと利用できません。みなと赤十字病院やけいゆうもありますし、十分です。	本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
10	特になし。	今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
11	反対です。	本再整備は長期的な視点から市民の健康と命を支える最後の砦としてあり続けるために必要なことと捉えており、根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしていると考えています。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
12	お任せします。	今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。
13	<p>この規模の病院ができることによって、良いこと、そうではないことを明確にしてください。社会学者や環境に詳しい専門家などが、どちらの立場でもなく、きちんと「この場所に大学病院ができるということ」を説明してもらいたいです。また、救急も受け付けるのか、その場合、周辺住民への問題はどのように考えているのかなど。</p>	<p>本再整備構想案は今後、再整備の具体的な検討を進めていくうえで、その柱となる「再整備のコンセプト」や「再整備の方向性(運営体制、病床規模、再整備の対象施設、再整備候補地等)」の基本的な考え方をまとめたものです。今後、具体的な検討を進め、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>

	<p>病院＝それなら仕方ない、とか、病院＝いつかお世話になる、と言ったことが大前提でみなさん、具体的なイメージもできない中で、良いんじゃないって思われるかもしれません。</p> <p>行政は、今後のトラブルを避けるためにも、きちんと、いろいろな可能性を模索し、そして説明をあらゆる角度からしてもらいたいです。</p> <p>病院建設については、情報がなさすぎて、わかりませんというのが私の意見です。</p>	
14	<p>わかりません。</p> <p>病院ができれば、どうなるのか。イメージできません。</p>	<p>本再整備構想案は今後、再整備の具体的な検討を進めていくうえで、その柱となる「再整備のコンセプト」や「再整備の方向性(運営体制、病床規模、再整備の対象施設、再整備候補地等)」の基本的な考え方をまとめたものです。今後、具体的な検討を進め、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>
15	<p>医療機関だからといって、良いことばかりかというところではないでしょうから、きちんと情報公開してください。</p> <p>また、そもそもここに病院が必要かという点、必要ありません。大学病院は、研究期間でもありますから、地元の人にとっての医療機関ではありません。おそらく、ここで死ぬことはできませんし。</p> <p>それよりも、もっと豊かなアイデアを求めて、みんなで作っていく方が横浜らしいです。</p> <p>横浜が好きで、また根岸が好きなので、とても良い方向に持って行ってもらいたいです。</p> <p>病院建設は、別の場所でいいです。カジノが無くなったなら、そこでもいいでしょう。。。利権などに左右されず、素晴らしい横浜づくりを期待します。</p>	<p>根岸住宅地区跡地は駅からのアクセスが不便等の課題はありますが、新病院等に求められる土地の条件を概ね満たしており、現時点では最も有力な再整備候補地と考えています。周囲の環境との調和を十分考慮し、今後、具体的な検討を進め、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>

16	<p>先ず数年は市民の生活を守ってください。          ここにお金を使う必要性がないです。          数年は税金を市民や既存の医療機関に当てるべきです。</p>	<p>今般の新型コロナウイルス感染症への対応として、市大2病院については求められる役割をしっかりと果たしていきます。一方で、中長期的には現行の医学部・附属2病院等が抱える課題の抜本的な解決、医療を取り巻く環境の変化へ適切に対応し、引き続き、市民の健康と命を支える「最後の砦」の存在としてあり続けるため、再整備が必要と考えています。病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで10年以上を要する事業となります。事業手法・事業費については、工期短縮、経費節減、多様な財源確保を目指し、多角的に研究を進めるなどし、ご要望の趣旨を踏まえ、今後、具体的な検討を進めていきます。</p>
17	<p>近隣在住のため、住民説明会を開催して頂きたいです。</p>	<p>本再整備構想案は今後、再整備の具体的な検討を進めていくうえで、その柱となる「再整備のコンセプト」や「再整備の方向性(運営体制、病床規模、再整備の対象施設、再整備候補地等)」の基本的な考え方をまとめたものです。今後、具体的な検討を進め、「再整備基本計画」として、改めて市民意見募集等を行っていく予定です。</p>
18	<p>このコロナ禍、もっと医者や看護師をたくさん育ててほしい。</p>	<p>市大は大学病院として、高度な知識・技術を備えた人材(医師・看護師)を市内医療機関へ供給し、地域全体の医療の質を向上させる役割を担っています。再整備を通じて、長期的な視点から大学病院としての機能強化を図っていきます。ご要望の趣旨を参考に、今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
19	<p>特にありません。</p>	<p>今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
20	<p>他事業(横浜IR等)とのトレードオフなら賛成。</p>	<p>本再整備は長期的な視点から大学病院としての機能強化を図り、市民の健康と命を支える最後の砦としての役割を果たせるために必要なもの捉えています。今後、ご要望の趣旨を参考に、事業手法・事業費については、工期短縮、経費節減、多様な財源確保を目指し、多角的に研究を進めるなど、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>
21	<p>iR同様、コロナ禍が収束する迄検討を延期しては?</p>	<p>今般の新型コロナウイルス感染症への対応として、市大2病院については求められる役割をしっかりと果たしていきます。一方で、中長期的には現行の医学部・附属2病院等が抱える課題の抜本的な解決、医療を取り巻く環境の変化へ適切に対応し、引き続き、市民の健康と命を支える「最後の砦」の存在としてあり続けるため、再整備が必要と考えています。病院等大規模医療施設の整備は、通常、検討開始から事業完了まで10年以上を要する事業となります。今後、再整備に係る具体的な内容について検討していきます。</p>